（明治四十年十月二十五日第三種郵便物認可）
満洲日報
購讀料 一ヶ月一圓二十錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

圓満解決を期し わが調停案成る
福本氏の罷免を取消し 事實上接收を承認

【東京二十九日發】滿洲海關問題は滿洲、南京兩政府が海關制度保全外債擔保の保障の二原則に基き實際的解決に到達すべき斡旋に至つたので、日本政府居中調停奏功し、近く圓満解決を見る見込立ち我政府當局も愁眉を開いて居るが、日本政府の斡旋に係る兩政府の妥協案は大體次の如くである

一、海關制度保全の原則に基き滿洲國が大連海關を接收又は房店その他に滿洲國政府海關を設置する事を承認しない

一、南京政府は大連を除く滿洲各海關に對する**滿洲國政府の實力支配の事實を認め 此等各海關の税收は滿洲國政府に取得させる事を承認する**

一、大連海關の税收約千三百萬海關兩は外債擔保々障の原則に基き南京政府に歸屬し、南京政府はこの税收を以て滿洲海關の全收入に對する外債擔保全額約一千萬海關兩を支拂ふ

一、大連海關收入よりその經費及び**外債擔保金額を控除して剰餘三百萬海關兩を滿洲國に與へる**

一、南京政府は**福本海關長の罷免を取消し**日本人税務員は辭表を撤回し大連海關の原狀を回復する

而して右妥協案に對しては英、佛、伊等關係各國も之を受諾し支持してゐるので、南京政府も面目論を離れて之を承認するものと期待され只滿洲國側は當然の手前之が受諾に難色あるやも知れぬが日本政府としては妥協案を承服するやう滿洲國に斡旋を重ねる事にならう

海關收入は斷じて渡さない
大橋氏奉天で語る

大連海關接收を終へ歸長の途にある滿洲國外交部次長大橋忠一氏は二十九日午前來奉し行動を秘して十間房の菊文に投宿したが往訪の記者に語る

大連海關接收について日本、英國その他南京政府を加へて妥協案を得、圓満に解決するといふことについては詳しく聞いてゐないが如何なる妥協案にても南京政府に對し海關收入を授與することは斷じて認容出來ない、日本との關係がうまく行かない場合は當然瓦房店に海關を設置するまでだ

尚本問題に關し滿洲國政府は近く重要なる閣議を開催し謝外交部長の名を以て聲明書を發表する筈である、同夜森岡領事、並に目下來奉中の關東廳林警務課長の招宴により海關問題に對し今後の日本の態度につき協議した、尚同氏は三十日午前六時發列車にて歸長の豫定である【奉天電話】

聯盟調査團と海關の接收問題
精査の上態度決定

滿洲國の大連海關接收及び滿洲國内各地税關接收について廿九日着奉せる聯盟調査委員の語る代表的意見は左の如くである

滿洲政府の大連海關始め各地税關の接收については北平において聞いた、調査委員は當初より滿洲の關税問題については最終報告において觸れるつもりでゐた、然し今回の問題惹起せるについて支那が日支兩國のハッキリした意志表示なき以上委員はこの問題を取上げることはしない【奉天電話】

調査團奉天着

陸路東上の聯盟調査團一行は山海關發二十九日午後七時二十五分奉天驛に着いた、驛には橋本參謀長森岡領事、在奉各國領事等の出迎へあり、列車から下りたリットン卿を始め各委員も機嫌よく出迎へ人と握手、挨拶を交した、支那側隨員は一人も來なかつた、一行は直にヤマトホテルに落着いたが三十日午前十一時奉天發安奉線にて朝鮮經由上京するが一行は京城にて下車一泊する、京城に於ては總督府の歡迎會には臨むも調査委員としての公式會見はない、調査團が當初豫定せる間島視察はこの途においてはなされず東京に直行するが調査團が東京より北平に赴く歸途一行の専門委員ヤング博士は間島視察する筈、尚鹽崎書記官は京城より一行に先立ち飛行機にて東京に直行外務省側と打合せする筈【奉天電話】

敏感なルンペン
早速海關に就職願

世の中にルンペンの神經ほど敏感性の鋭敏なものはなからうといふ話――大連海關問題が紛糾し滿洲國徴税處では日本人の手だけで事務がとられてゐるとの記事が新聞に出るや二十九日は午前中に履歴書携帯の採用志望者三人まで大連海關の玄關を訪れて

皆さんの英雄的行爲にすつかり感謝してしまひました、就いては私も一しよに支那人の代りに仕事にでも使つて下さい

と申込んだ、徴税處では折角だからとて受附けたが、中村前副税務司に採否を訊れると

滿洲國の方針もありましやうから何ともいへませんが恐らく採用するわけには行きませんでしやう

との甚だ氣の毒な返事、しかし支那人關員の大部分は行動を共にせぬことが大體わかつたのでその後任として公學堂等を卒業して日本語の相當出來る支那人を採用することになるらしく、この方のルンペンは救はれるわけであるが、とは日の本のルンペン諸君はあくまで惠まれない

下級關員 牽制さる

舊大連海關員中、上級者は除いて下級者は滿洲國徴税處に加はるものと見られてゐたが、二十九日朝來の形勢では彼等は幹部より滿洲政府の基礎の薄弱なこと等のデマを聞かされて意動き一致して舊大連海關に留まるものと見られるにいたつた、彼等の中には日本語にも達し邦人と行を共にせんことを希望してゐる者もあるが、これらに對しては同僚より壓迫と警戒が加へられあるものゝごとく、彼等のうちの一人は

自分は滿洲國に入りたいのだが故郷の山東には老祖父母と土地があるので南京政府から如何に迫害されるかを思ふと到底行動を倶にする譯には行かない

と涙ながらに訴へる有樣であつた

奉天丸積荷の大連陸揚を許可
上海海關において

【上海廿八日發】大連汽船奉天丸は大連揚げ綿糸布千五百噸其他三百噸を滿載廿九日午前九時出帆大連に向ふこととなつた、上海海關は同積荷の大連揚げを許可したので無事出港の見込みなるも、將來は當地で税金の先取りを爲すものではないかと注目されてゐる

水上署警戒

關税徴收處の聽差罷業の裏面にはある種の黒幕が動きかけてゐると噂されてゐるが右事實の發生と共に所轄水上署では高等係總出動非公式に探査の手を進めてゐるが午前十時半頃大連署高等主任千葉警部も水上署に來り沖田高等主任と何事か密談を交して行つた、尺聞するに海關問題並に聽差の罷業事件に關聯してゐるものと見られてゐる

延吉海關を接收
直に滿洲國旗を掲揚

【間島二十九日發】滿洲國海關吏は二十九日午前十時延吉海關を接收し滿洲國旗を掲揚した

國際運輸徴收處を應援

關税徴收處は聽差連の罷業により事務遂行の上に不便を感じ傭主連にもかなりの支障を與へてゐるが當地國際運輸では非公式に通關事務に熟練したもの兩三名を應援に

支那關員の動搖鎭靜か
三日目の徴收處

滿洲國財政部關税徴收處では廿九日即ち海關接收以來三日目聽差の一齊罷業にあつて些か面喰ひ加へて常よりも徴税事務多く徴税事務に一時支障を來し活潑を缺いたが日本人海員の必死的活動により辛くも徴税事務を遂行し七萬圓以上の徴税收入をあげて凱歌を奏した

海關では聽差の罷業は一部は支那海關員の入智慧によるものもあるが大部分は誤解によるものが多いので本三十日午前九時までに出勤せざる者に對しては解傭する旨を言渡し斷乎たる決意を示したので幾分動搖鎭靜の氣味があり明日は殆ど全部出動するものと觀られる

東支鐵道督辨 李紹庚氏來連す

今年二月以來、督辨として難局にある東支鐵道を主宰してゐる李紹庚氏は理事沈瑞麟秘書李伉の兩氏を伴ひ鉄満鐵囑託の東道で二十九日午後八時着連、滿鐵關係者の出迎へを受けて星ケ浦ヤマトホテルに投宿した、車中金州まで出迎へて刺を通ずれば、格幅のよい李督辨は無髯の童顔に人懷こい笑を浮べながら快よく語る

大連に來るのは丁度十年ぶりで隨分發達したらうと豫期してゐる、今度來連の目的は昨年内田總裁の來訪を受けたのでその答禮と、同伯が今度外相に就任されるさうだからその御祝を兼れた送別と、滿鐵幹部との會見と鐵道施設の見學である

◇

南滿東支連絡協定については現在のところではまだ双方より何らの申出でがなされてゐないがこの問題については會議を開いて討論する必要がある

◇

東支鐵道は事變以來不安の地位にあるが、現在でも匪賊出沒のため東部線旅客列車は一面坡で打切り、貨物列車も不定期に經續してゐるだけで直通してゐない、何分護路軍は匪賊討伐のため奥地に出動してしまひ防備手薄を免れない、加ふるに今年は輸入貿易が不振なので鐵道收入は毎日四萬金留の赤字を出してゐる有樣でこのまゝで行けば現在の總從業員一萬五千人中より又も多少の犠牲者を出さればならぬのではないかと案じてゐる

屢々問題となつて世間を騒がした舊從業員の退職手當はなほ七百萬金留殘つてゐるがこれは三年間に年賦で支拂ふことに決定してゐる

◇

ソウエートが持ち去つた東支の車輛中貨車は一部分返還されいづれ全部戻るものと信ぜられてゐるが機關車は一臺も戻らず、この方は滿洲國の外交部の手で交渉することになつてゐる、持ち去られた機關車は六十五輛だが東支の全機關車は四百輛だから直に列車運轉に不自由する程ではない、東支鐵道の將來については色々噂されてゐるがもし他の鐵道から壓迫されるやうなことがあればその經濟的價値は少くなる、しかもその際も隣接鐵道との連絡を圓満にすれば現狀を維持することだけは出來ることと信じてゐる

◇

東支の運賃、ことに南部線の運賃が不當に高すぎるとの非難も屢々聞くがこの問題については目下委員會を設けて値下げについて研究中である、建値を現大洋建にするといふ計畫は東支部内においては未だ全然起つてゐない

その他東支鐵道買收問題奉露協定問題等の重要問題については一切聞かず知らずを繰返して巧に質問を避けた、なほ李督辨一行は七月二日内田總裁を見送つた後、同日夜行にて歸哈すると【寫眞は左李紹庚督辨、右沈瑞麟理事】

日銀總裁藏相訪問

【東京廿九日發】土方日銀總裁は廿九日午前十時藏相官邸に高橋藏相を訪問し正午迄二時間に亘り要談した

大連海關物語
彼方と此方の板挾みに惱む(下の一)
退嬰後でも制服を着た 黒澤初代海關長

暴戻なる南京政府財政部長宋子文氏の罷免に會ふや直に日本人全關員を結束し、果敢にも滿洲國關税徴收處の事務を開始することによつて、一躍その男振りをあげた福本順三郎君は大連海關長としては實に九代目であつた

大連海關問題が如何に解決を遂ぐるかは尚變轉の餘地が存するが、滿洲國の接收が完全に實施されるものとすれば、大連における支那海關は潰滅し、支那海關長も福本氏を以て最後のものとすべく永久に記念さるべき歴史的事實であらねばならぬ、今歴代海關長を羅任順に示せば左の通りだ

		着任の年月
黒澤	禮吉	明治四十年七月
立花	政樹	明治四十一年
江原	忠	大正四年
岸本	廣吉	大正十年
立花	政樹	大正十四年十一月
江原	忠	昭和二年五月
北代	眞幸	昭和三年十月
岸本	廣吉	昭和五年五月
福本順三郎		昭和六年四月

◇……◇

大連海關が生れて既に二十有六年、人にするとき修學の期を脱して、漸く活動の緒についた頃である、問題勃發の如何ん問はず將來への針路を判然とさするためにも、一應は過去を回顧するの價値はあらう、然るに大連海關の成長を辿る記録を何處にも發見し得ないのは頗る遺憾とする所だが、明治四十年七月男ましく呱々の聲を擧げて以來の海關は、大體に於て順調に育まれ來つたもの如くである、だが大正十三年頃

任當時に水災附加税問題が發生したのを契機として、それ以來の大連海關は大小幾多の問題が派生して、日本人たる歴代海關長は關東廳當局と支那政府との間に板挾みとなり、かなりの辛勞を重ねてきたものだ

◇……◇

初代海關長黒澤禮吉君は、アメリカ育ちの紳士であつたが、嚴格を以て鳴り、歸宅後と雖も必ず正服を着用したので夜分往來等で逢ふ時は海關吏は自ら舉手の禮をしたものだといふ、部下の放逸を許さず、殊に遊里の巷へ出入することなど嚴戒を加へたものだが、設立早々だけに特別に意を用ひたものであらう、當時は人員も現在の三分の一位であつたし、ロシアの統治下品の脱税頻發し、これが防止に腐心をなつたものらしい

來居移り物變り、大正十三年に至るや、北京に於て問題となつた水災救濟附加税實施の件につき當時の岸本海關長は相當苦慮したものだ、當業者の先物既約品に對する不測の損害を免れしむるため、大いに努力する所あつたが結局輸出品に對しては兩加税一割が實施された、年を經て昨年十二月再び水災附加税が實施されたが、當業者にとつては好ましからぬ奇縁といふべきであらう

◇……◇

昭和元年にはワシントン條約による一般附加税、即ち現率の五割乃至十割附加税（普通品五割奢侈品十割）實施の件が北京外交團の一大問題となり幾多の折衝あつた後、昭和三年秋いはゆる七種差等税率即ち輸入税のみが適用され、越えて同四年二月には輸移出品にも五割附加税實施の問題が起つた、税率變更に當つては、如何なるものたるを問はず、大連海關は先づ關東廳の承諾を必要とする、そこで溫良の紳士たる北代君は特に心肝を碎いたものだ、總税務司よりは連二無二徴收を電命するし一方關東廳は容易に諾否を表明せず、已むなく徴收せんとすれば實力阻止による強制通關に逢ふ等その立場は寧ろ同情に値するものもあつたが結局總税務司の忌諱に觸れ、昭和五年四月、大連海關に比すれば、關税收入は十分の一にも至らぬ鎭江海關に左遷されたものだ

◇……◇

北代君の後任として再任した岸本廣吉君は海關長としては好評嘖々たる人、現に總税務司公署の秘書長として支那海關に於ける事務上の實權を握り、日支間の友好關係にして順調にさへ進めば、當然次の總税務司として、支那海關に君臨するの德望と實力を有つ、從つて着任後の君は孜々として一般輸出入業者のため事務手續きの改善に努めたが、時恰も民税廢止による二重課税問題が突發した、この時も頭脳明晰を以て聞ゆる岸本君は日支關税新協定に於て民税廢止が明記され居ることを指摘し、理論的には炳然たるものがあつたが、その實これが圓満解決に努めたものだ、世論は沸騰して支那の不法を鳴らす裡に、在任一年に滿たずして現職についた、かくて昨年四月わが福本順三郎君は着任したのである、日支關税新協定による五割附加の新税率は同年六月一日より實施されたが、これは當然嫌難の下に實施されたものだけに何等の紛擾をみざることと言ふ迄もない、昨夏撫順炭に對する特殊協定を無視した支那側が、一般石炭に對する輸出税を課せんとした時滿鐵との間に紛議を醸成したのは耳新しき事實だが、我は強制通關を以て支那側の不當課税を一蹴した、郵君が又聰明快と理論闘爭に長けた福本君が又腰の人であつたことは今回の海關接收問題に於て見ることが出來る【寫眞は上岸本君、下北代君】

賠償會議空氣緩和
マック首相の斡旋功を奏して
參加主要國會議召集

【ローザンヌ二十八日發】佛獨間の確執により全く膠頓狀態に陥つたローザンヌ會議を打開すべく本日英首相マック氏と藏相チエムバーレン氏はエリオ・パーペン佛獨兩首相と會見約三時間に亘り重要協議を行つたが會見後賠償會議議長マック英首相は會議の事業完結に必要な打合をなすため廿九日參加主要國の會議を召集すべしとのコムミユニケが發表された、最初右コムミユニケは會議打切りのためとされてゐたが、打切りは不穩當とあつて事業完結のためと書換へられたものである、三ケ國巨頭連の會談の結果事態は如何に進展するか明瞭でないが、マック首相の斡旋大いに奏功し會議の空氣を軟らげられ佛獨間の意見の隔りも緩和され相當の歩み寄り行はれたものの如く兩國とも戰債帳消しの原則には事實上同意し目下兩國とも互にその具體的主張に關し折衝中である

フーヴァ案考慮
英樞府議長の答辯

【ロンドン廿八日發】本日英下院で勞働黨領袖ランズベリー氏がフーヴァ大統領軍縮案につき英米協力して世界の軍縮をリードするや否やとの質問に對し樞密院議長ボールドウイン氏はサイモン外相の報告をマック首相が考慮して週末の閣議に附議したる後、政府は的確なる實質的内容を持つた具體的報告をなし得やう、しかし余等はフ案を原則的に歡迎する旨しその方式は余等の望んでゐたものに近いからであるが一、二の點については困難を認めざるを得ぬことの點はなほ明言し得ぬが、余等は人心の安定乃至戰時食糧の安全並に數億の東洋民族の法律秩序維持に責を負ふ用意で行動してゐる、この用意あるが故に同案についても政府は考慮を重ねればならぬ、同案殊に軍備削減の量が各國にとり最上の形式のものなりやはなほ研究を要すると思ふ從つて一週間足らずの日子でこの愼重な重大問題の結論を見出すことは不可能

ハフィス時計　感不動振

除隊延期中の獨立守備兵
愈よ七月一日退營

【東京二十九日發】滿洲事件勃發當初から多大の勳功を樹てた昭和四年召集入營の獨立守備隊歩兵は一ケ月現役延期中であつたが愈々七月一日二ケ年餘の在營を終へ退營する事となつた

見送りませう 戰傷病勇士を
三十日午後四時 照國丸出帆

通貨膨脹法
七月一日施行

【東京二十九日發】政府は臨時議會を通過した

一、昭和七年法律第九號兌換銀行券條例中改正法律
一、日本銀行參與會法
一、日銀發券制度改正に伴ふ會計規則中改正の件

を七月一日より施行する旨勅令を二十九日官報で公布した

山岡關東長官 首相に歸任挨拶

【東京廿九日發】山岡關東長官は七月二日午前九時四十分東京驛發歸任することとなり廿九日午前八時官邸に齋藤首相を訪問し歸任の挨拶を爲したる上、滿洲四頭政治統一機關設置問題、滿關問題等につき會談一時間にして辭去した、なほ荒木陸相は午前十時首相を訪問滿洲國承認問題につき意見を交換した

満洲國入りの 遞信省官吏 昇任退官的令

【東京二十九日發】豫て滿洲國郵政部は我遞信部内に人を求めてゐたが左記諸氏はいよいよ近く滿洲國官吏になるに決し退官の手續を取つてゐたが二十九日退官に先立ち左の如く昇進發令があつた

遞信省副事兼遞信局書記(郵務) 住川五之七
任遞信書記官(六) 鹿兒島郵便局長 中島敏雄
任遞信省事務官(六) 遞信省属(電務) 羽根田久一
任遞信局事務官(七) 遞信局技手(東京) 工藤準
任遞信局技師(七) 遞信省属(工務) 山田亀一
遞信局書記兼遞信省属(郵務) 松尾松太郎 内海二郎
任遞信事務官(七)(参遞) 遞信技師(中管) 時吉秀雄

社民勞農大衆 合同準備

【東京二十九日發】戰線統一を目差し合同を急ぐ社民勞農大衆兩黨は廿八日合同協議會を開き新黨の綱領建設大綱及び政策を決定し、合同大會は七月廿四日か八月七日に擧行することゝなつた、黨名及び役員等は七月三日協議會で決定する筈

日本新聞協會 齋藤内閣祝賀會

【東京廿九日發】日本新聞協會は廿八日午後六時から帝國ホテルに齋藤内閣成立祝賀會を開き齋藤首相を始め山本、三土、小山、後藤中島各相柴田翰長、堀切法制局長官等出席盛會裡に午後九時散會した

イタリー覺書を提示

【ローザンヌ二十七日發】イタリー外相グランヂ氏は英佛首相と個別に會見イタリー政府の覺書を提示説明した、右覺書は

一、通貨安定、關税墻壁撤去に依る歐洲諸小國の財政經濟的改造
一、ドイツが將來賠償金支拂をなす場合支拂額は各國に平等に配分す

を骨子としてゐる

米代表英首相會見

【ローザンヌ二十八日發】アメリカ軍縮代表ギブソン氏は二十八日當地にて英首相マクドナルド氏と會見し軍縮問題及び來週開會さるゝ一般委員會につき協議を遂げたと答へた

社説

平價切下は早晩免れず（五たび）
遊民の優賞 勤勉の嚴罰

今や異常の不景氣風は、全世界を吹き捲くつてゐる。而して物價も到るところ急テンポの暴落を續けてゐる。然るに之れが爲めに最も打撃を被つたものは世界の負債階級である。假りに彼等が數年前に一千圓の金を借入れ、之れを資本として何等かの事業を開始したりとせよ、其後物價が意外に暴落した爲め、其の負債は實質上二三倍に激増し、二三千圓と同樣の負擔となる。彼れが最初一千圓の負債を起して事業を開始したる時には毎年僅に其の利子を支拂ひ、尚何年かの後には其の元金をも滯りなく返濟し得る見込があつたに相違ない。若し經濟界が普通の状態を繼續してゐたならば、此計畫は恐らくは誤れるものではなかつたであらう。然るに其後世界の經濟界は急に變調を來した。實に空前の激變を呈した。之れが爲めに彼の計畫は根本から破壞し去られた。一千圓の負債と思ふてゐたものが、實質上二三千圓に増加した。其の毎年の利子支拂高も亦二三倍となつた。數字の上では之れが認められぬが、實質上此の如く急激した。其の結果彼の立てたる最初の計畫は全く蹉跌し、其の事業を破滅の慘状に導いたのは當然である。

◇

是れは卑近な假設的の比喩であるが、現今に於ける世界的の不景氣、生産事業の行詰れる最大原因は、實に此點に外ならない。其事業には農あり、商あり又工業もあり、其の種類は千差萬別であらう。又其の規模に至つても、大小の差違はある。されど其の物價の高き時、之れを標準として相當の計畫を立て、之れを引當てに資金を借入れたるに、其の後物價は急落し、貨幣價値は之れに反比例して急騰したる爲め、其の債務支拂高は實質上急に激増し、其の經營者は四苦八苦の窮境に陷る。目下全世界の生産界が全然行結るに至つた最大の原因は、畢竟茲にある。

◇

既に之れが世界的である。我日本においても、其の影響を被むりて、負債階級が總て困厄に陷つたのは當然である。されど我日本の負債階級は、獨り此の世界的の影響を被むつたばかりではなく、此外に別に人爲的の災厄をも被むつてゐる。夫れは例の民政黨內閣のデフレーション政策（通貨縮小策）である。勿論、民政黨內閣の金本位維持策は最初は決して間違ひではなかつた。寧ろ經濟學の本筋を行かんと試みたものである。其の動機は大に之れを諒とせざるを得ない。されど一旦此のデフレーション策を始めた上は、假令米國に恐慌が起らうとも、又之が世界の經濟界を暴風の如く吹き捲ろうとも、飽くまで初一念を貫徹せんと試みたのは、聊か杓子定規の嫌を免れなかつた。殊に昨秋英國が金の輸出を再禁止し、之れが爲め世界の金融界に異常の動搖を與へ、其の結果我國の正貨が滔々として流出したるに拘らず、飽くまで之れを袖手傍觀してゐたが如きは、餘りに強情に過ぎたやうである。其の結果我國の負債階級は、特に甚だしく窮迫するに至つたのである。

◇

謂ふ勿れ、負債を起すことが抑も／＼の心得違ひであると。吾人は茲に敢へて近世的經濟の機構に於て、事業資金を他より借入れることの當然なる所以を講釋せんとは思はず、唯一言せば、近世の生產界に於て負債階級は、寧ろ尊ぶべきエンタアープライヂングの國民であることを明かにすれば夫れで足るのである。固より負債階級の內には、遊惰なる不生產者も少からざるべきが、其の多くは事業界に於ける奮闘階級である。借金なして何等かの事業に精進せんと努力するものである。之れに反して債權階級こそ概ね經濟界の惰民である。或は銀行に金を預け入れて其の利子で座食するとか、或は公債社債の類を所有して袖手贅澤な生活を爲すとか、一國の生產上から云へば、寧ろ擯斥すべき人が多い。然るに過去のデフレーションでは、是等の遊民が利益し、企業家は悉く打撃を被つたのである。遊民を賞し奮闘家を罰するの結果を來したものである。デフレーションは甚しき過誤を敢てしたものである。

◇

加之、此の遊民の賞は可なり手厚き優賞である。同時に企業家の罰も驚くべき嚴罰である。先日も吾人の一應論述して置いた如く、不動產を擔保とする農民の負債は、五六十億圓を下らず、其の殆んど全部が、數年前經濟界の今より遙かに好況なりし時出來た負債である。其他普通銀行其他の貸附金中にも、數年前より固定したる貸附金が、恐らくは百數十億圓の巨額に達すべし。從つて全國に於ける債權債務の固定額は、頗る大雑把な計算なれども約二百億圓と押へて大差なかるべし。然るに前記の世界的不景氣と從來のデフレーション政策の結果、假りに物價が三分の一に下落したるものとせば、此の債權債務の總計は、是亦三倍し、二百億圓のものが六百億圓となりたる道理ならずや。さすれば之れが爲めに利益する全國の債權階級、即ち遊民階級は、最近五七年の間に差引四百億圓の賞を與へられ、同時に之れが爲めに損失する負債階級、即ち生產界の奮闘階級は、矢張り四百億圓の嚴罰に處せられたると同樣の結果となる。況んや此の遊民階級は、右の外巨額の國債や地方債や、乃至は社債類の如きものに於ても、矢張り三倍の賞を與へられてゐるのである。世間不公平の事は少からずと雖も、斯かる驚くべき不公平も亦少いであらう。

◇

最近の世界的不景氣と、特に我國に於ける從來のデフレーション政策は、實に前述の如き不公平を敢てするに至つた。今度のインフレーションと平價切下は、此の不公平を根柢から訂正せんとするものである。即ち我經濟界の狀態を數年前の常態に復せんとするものである。吾人は敢て歐洲大戰當時の最猛時を夢みて、其の熱狂時代の再來を期待するものではない。歐洲大戰當時の盛況は固より望むべくもない。之れと同時に最近年來の經濟界も決して常態といふことが出來ぬ。仍つて其の中間を取つて、之れを其の常態にまで引戻さんと欲するのである。然らざれば啻に界の由々敷大事であるのみならず、實に全國の蒼生は堪へぬのでない。而して之れを根本に復し、前記の大不平を根本から訂正するのには、インフレーションに若くはなく、又インフレーションの結果として平價は到底免れないのである。いふ、インフレーションや平價切下では景氣恢復せぬとでも可なり。たとへ景氣は恢復しなくとも、又新規の需要が起らずとも、前記の不公平が訂正されさへすれば、夫れで可なりである。

大學卒業生約千名 來春滿洲國で採用
日滿中央協會で準備

【東京特電二十八日發】日本各大學聯合會日滿中央協會の雨宮理事は過般滿洲國を訪問、最高幹部と會見の上來春卒業の各大學生約一千名の就職方につき重要打合せを遂げて歸京した、この問題を中心に昨夜神田一ツ橋教育會館に理事會を開き二十名出席、左の件を決議した

一、滿洲國に對する就職者は各大學の卒業生の率によつて協定すること、但し軍事教練を經たるものを尊重すること

一、委員は各大學より一名宛を選ぶこと

一、滿洲國政府より詮衡委員の上京を待ち採用を決定し、今年十月頃より採用大學生に對し滿洲國語その他の特殊教育を施すこと（滿洲政府は來春三月を期し日滿兩國青年官吏を相當多數採用する模樣である）

一、菊地中將を理事會議長に推薦す

一、理事長は明大教授松平侯爵、法政大學高山教授兩者の內一名決定のこと

一、會計監督は慶大三邊教授

一、基本金は綜合大學より年五百圓、單科大學より三百圓提出すること

買收に應ぜねば 補償金は出さぬ
市場案市會委員會

大連中央卸賣市場組織改善の第三回委員會は二十九日午後二時より市役所會議室に開催、委員側より今村委員長以下六名、市理事者より小川市長、岡野助役以下各課長出席

●部委員 本案市會通過の後當業者が承認しなかつたら、市長はどうする。支那人殘留組は市長よりはまだ何等の交渉も受けてゐないが、十二萬圓の補償では絕對承認しないといつてゐる

●小川市長 それは耳よりな話である、この前支那人側の代表者數人とは諒解してゐる筈である、その後方針に變化はない、正式には日本人脫退組に對してもまだ交渉はしてゐない、しかし支那人が本案が市會を通過しても應じない場合は私も相當覺悟を持つてゐる

●高橋委員 現在の卸賣人中何人位仲買人になる見込みか

●岩光書記 補償金問題が折合つても折合はなくとも市の市場に復歸し仲買人になる事を絕對拒絕するのは三名位あるだらうと思はれる

●高橋委員 現在の卸賣人が仲買人にならず問屋として營業を繼續する場合は問屋として荷主よりやはり手數料を貰へる事となるから別に失業したと云ふ譯にはならない、かうした人には補償の必要ないと思ふが市長の所見如何

●市長 そういふ卸賣人は將來市場行爲に參加出來なくなるのだからそれで補償するのである

●高橋 荷主の吸收方針として奬勵金でも出す心算か、又は前貸で…もする方針か

●長濱社會課長 一切やらない

●高橋 本案實行の場合內地出荷が市場に集らず市中の問屋に集まるやうな恐れはないか

●市長 そんな杞憂は絕對にないと思ふ

●有馬委員 補償金額を見るに脫退組の日本人に不利で居殘りの支那人には有利である、補償金算出の基礎を聞きたい

これに對し小川市長詳細說明するところあり

●高橋 買收に應じなかつた場合は補償金はどうする

●岡野助役 買收に應じなかつた場合は補償の義務がない

●市長 私は必ず買收に應ずるものと思つてゐる。萬一買收に應じなかつた場合は場外取引禁止の法令を以つて取締つて貰ふ心算である、而してさういふ法令が出ない場合は想像しても見たことがない

同四時三十分散會、なほ次回は三十日午後二時より續開の筈

青聯代表の 巡講狀況

滿洲國青年聯盟代表一行は廿六日三班に分れて全國各地に巡講の爲離京したが、鯉沼代表以下の第一班は二十七日朝名古屋着、午後二回に亘り全名古屋市民に對し滿洲國承認の急務を絕叫し直に京都に向ひ、二十八日同地にて滿洲國建國の理想を達成する義務ある日本國民が起つて承認を促進せよと熱辯を振つたのち大阪へ直行した七月一日には大阪中央公會堂における日本國粹黨主催の卽時承認國民大會において鯉沼代表が講演するはずである、一方關代表以下の第三班は二十六日横濱で二回に亘り數千の熱狂裡に五度母國に使せる決意を披瀝し同夜東北地方に向ひ直接九州に赴いた伊藤代表以下の第二班と東西相呼應して二十八日

日滿經濟關係の現在及將來（3）

滿鐵經濟調査會 安盛松之助

【前號（六）日本の寄與による滿洲經濟の發達のつゞき】

●金融 支那側金融機關及通貨が經濟發展に何等好影響を齎さなかつたのみならず、官憲の獨占を助長し民益を搾取する機構として利用されたことは周知の事實である此間にあつて政策上多少の過誤はあつたが日本側金融機關及通貨が滿洲の產業通融上莫大なる便利を與へたことは明かな事實である。

●貿易及商業 既に前項に述べたる如く物資の需給關係に於て日本と滿洲とは甚だ密接な關係である が滿洲內商業に於ても日本人の貢献の大なるものがある各種商業機關、補助機關、助成政策の充實により滿洲內の商業を便利にし惹いては對外貿易に著るしく發展を促した。

以上主要なる部門の外敎育、保健衞生、道路、橋梁水道等の文化的施設が直接間接に滿洲の經濟的發展を助長した事も觀過し難い。此等の事業に對し投じたる滿鐵及關東廳の資金は二億六千萬圓を超えてゐる。之を要するに滿洲の經濟が現勢にある所以は最も多く日本との關係に依存し居るものといふべく。日本なかりせば滿洲經濟の現勢は如何なりしかを想像することは不可能なるも凡ての部分に於て幾分か發展後れたるを想像し得べく殊に日本の投資なかりせば又治安維持なかりせば等を想定する場合或はその過半が未開發の儘であつたとも考へられ又軍閥の搾取に任せたとも考へ得ないでもない支那人の經濟活動力の大なるは之を肯定するもその足らざる處を日本が補ひ彼此協力今日の狀態を見たるを思ふとき將來にもこの相互扶助の切要なるを結論すべきである。

滿洲の日本に對する經濟的寄與

滿洲の經濟發展に對し日本が如何に寄與したるかは前節に述たが立場を轉じて滿蒙が日本に對し如何なる經濟的寄與をなしたかを考察せんとする。今此等を日本國民經濟の立場より觀察するに凡ゆる寄與は（一）移民地域の提供（二）投下資本に對する利潤の提供（三）資源の供給及び（四）製品販賣市場の提供の四項に包含せしめ得るも此等は多くは長期的に日本の國際收支への寄與として合算し得るものである。以下項を分つて概說せん。

（一）移民地域の提供

人口食糧問題に惱める日本にとつて移民地域の提供はそれによる實際上の人口緩和の直接的效果が大ならずとするも間接的效果の大なるものがある我國全版圖の一、八倍の面積を有し密度約五分の一に過ぎぬ滿洲を近くに控へこれに移民の可能性を認め得ることは日本にとつて意義深いことである。のみならず在外邦人總計七十六萬の三割に當る二十三萬の內地人と百萬の朝鮮人の滿洲に在住することの直接間接の利益も少くない。實に滿洲は現勢に於て日本の最大の移民地である。然らば移民の直接の利益とは如何、人力即ち勞働、技術、智識、組織並に經營能力等として作用する人の能力が報酬を獲得し得ることゝ直接的利益とは移民に伴ふ活動上の利益國防上の…る。

（二）投下資本に對する利潤の提供

滿洲に對する日本の…五年末現在において…千萬圓に達する、昭和…して商工省の發表せる…業投下資本（借款を除…國中對滿投資七億に…する投資及借款を加算…れるが此等の約七割…く二十億乃至二十五億…なしめてゐる。日本の…此外積立金、社債等…し且つ個人商店及支店…がこれだけの資本の投…供したとも見られる、…供の程度は甚だ著しく…

八田副總裁と 永井拓相 會談時…

【東京特電廿九日發】八田…

京阪に於ける 協和會使節
承認を四方に說く

協和會使節歡迎會

滿人に受けた 見本市

滿鐵重役會

上海在銀增加

辭令

眞崎參謀次長

大觀小觀

市況

株式

內地强保合 五品小戾し

特產

買氣なく大豆軟調

錢鈔

人氣稍緩み 鈔票下押

商品

奧地市況

市場電報

神戶特產

簡易な書翰文

マヤ文化の廢墟

◆…ピサロ、コルテス等によるメキシコ征服の日まで西洋紀元の頃より連綿千五百年、中央アメリカに榮えてゐたマヤ帝國の遺跡がメキシコ灣に突出するユカタン半島に發見されこの大陸に獨立して發達し滅亡した文化研究の新らしき端緒が見出された。

◆…即ち最近シルヴエーナス・モーリー博士の率ゐるカーネギー研究所探檢隊はユカタン半島カラクムールの地に於てマヤ文化に關する多數の資料を發見した。

◆…カラクムールはガテマラ國の北境メキシコと接せる地點にあり約一千年間續ける舊マヤ帝國の中央よりマヤ族が紀元五百年乃至八百年の頃移れる新帝國との中間にあり古代に於ては宗教上の大中心地たりし如く、宗教的彫刻の數々を施せる寺院乃至記念碑等巨大なる範圍に亘る大廢墟があつた。

◆…同市滅亡の原因についても探檢隊一行の報告によれば同市の附近には一聯の湖水があり人々はその湖水に至る斜面を耕作してゐたが地盤脆弱のため次第に湖中に浸入しその結果附近は沼澤地となつたため疫病猖獗し遂にマヤ人は此處を去つて新帝國に移つたものと見られてゐる。

◆…兎も角同地の崩れたる記念碑と蔓草に蔽はれた寺院の廢墟に彫られた日附乃至諸種の記錄を基にしてマヤ帝國の興亡史の明らかにされる日も遠くないと見られてゐる。

うすもの着つけに

肝心な長襦袢・帶の調和

……脛を見せないたしなみを……

夏もほしいもの

うすもの、天下になりました、サラリとした明石や絽の着心地は夏ならでは味はへませんが、これも着方一つで却つて見る人に暑苦しい感じを與へることがあります、うすものをお召しになる場合最も肝心なのは長襦袢とうすものと帶との調和で、これがうまく行つてゐなければいくら着附に萬全の注意を拂つても到底涼しい感じを出すことは出來ません、透けて見える薄物の下から長襦袢も着ないで赤いおこしや短い不恰好な肌襦袢をのぞかした不體裁は論外としても色物の長襦袢やごちやごちやした模樣を下に着ますとすつかり

涼味が殺がれます、ことに上の薄物の柄が複雜な場合ですと一層あつくるしい感じを與へるのです、普段着でしたら下から白の襦袢にレースのスカート位でもかまひませんが、他家を訪問でもなさるのでしたら矢張りチヤンと長襦袢をお召しになつた方が禮儀にも適ひお召しになつた恰好もよろしうございます、夏物と申しましてもやはり長襦袢が着附の基礎になるのですからこの選擇と着附には特に氣をつける必要があります、明石や麻のピンとしたもの丶下には矢張りピンとしたボイルやレースの長襦袢がよく、絽縮緬のお召物の下には

しなやかな絽縮緬の長襦袢が適當で、片方がしなやかで片方が突つ張つてゐては到底上手な着附が出來ません、さて長襦袢がきまりましたら恰好よく着て白モスを二寸巾位にくけたもので乳の上から三重ばかり卷いてくづれぬやうにします、乳の上ですと大がい締めても苦るしいことがなく胸元もキツチリしますが、乳の下で胃のあたりをギユツとしめつけますと胸が苦るしくて弱い人ですと氣分がわるくなつたり貧血を起したりします

それかといつて乳の上を伊達締でグルグル卷きますと上の着物を着た時伊達卷が透いて見えますからワザと白モスを用ひるのです、長襦袢がすみましたら上着を重ねて冬分より幾分短めに裾を揃へてキツチリと腰帶を締め、若い方でも幾分衣紋を拔き襦袢を縫目に長く見せて伊達卷が細でくづれぬやうに締めます、帶は單帶は略式ですから目上の方を訪問するには名古屋が輕くてよろしいでせう、これもあつさりと小さく、少し下目に結んだ方が涼しさうです

日本人は素足の美を謳歌する位ですから夏のストツキングは野暮だと仰言るかも知れませんが國際都市に住む私共は外國人に對する禮儀として電車の乘降などにすねを見せないたしなみを夏もほしいと思ひます（エンセル美容院松下夏子さんの話）

藥でも用量を誤まると毒です

水泳にゆく人のため　特に耳鼻咽喉の注意

普通に用ゐられてゐる藥でも用量を誤ると毒になる樣に、海水浴も注意を怠ると健康にならうとして却て病氣に襲はれる樣な事になりますから海水浴をする前には必ず自己が健康であるか否かに意を用ゐる事が大切です、心臟や腎臟に故障のある場合とか發熱してゐる場合、脚氣を病んでゐる時、或は醉つて居る場合等は

絕體に　海に浸つてはならないのです、その他耳や鼻や咽喉に急性の炎症、例へば中耳炎、鼻カタル、扁桃腺炎等のある時は當然禁泳すべきです、また耳垢が澤山溜つて居る時耳に水が入るとそれが膨脹して耳が痛んだり外耳炎を起したりする事があるし、鼓膜に現在孔のあいて居る人は汚水が耳に入ると中耳炎を起したり或は游泳中突然眩暈を起したりして危險ですから、絕對に禁止した方が安全です

水泳中　耳に水が入つた時は頭を水の入つた耳の方に傾け、同じ側の脚で立ち、二、三回跳躍するか又は清潔な脱脂綿を細長く丸めて耳に挿入れ水を吸出すのです、マツチの軸木や鉛筆の芯、釘などで耳を掻く人がありますが、これは亂暴も甚だしいものです、この爲に却て傷が出來、痛んで二晩も三晩も寢られない事がある許りでなく、時には恐ろしい丹毒になつたりすることがあります、又泳いでゐる時よく鼻に水が入りますが、鼻をかむには必ず片方宛押へて、靜かに噴き出すか、でなかつたら鼻汁を咽喉に吸込み口から吐き出すと安全です、強く鼻をかんだため中耳炎を起し、更に乳嘴突起炎まで起すと云つた樣な事は毎夏ながら再三見てゐます、で、海水浴をするには必ず

全身に　異狀がないかを確め、耳疾豫防のためには清潔な脱脂綿塊に新しいワセリンを塗つたものか又は青梅綿を丸めて耳に挿入し、且つ強く鼻をかまない樣注意をして頂きたいのです【澤田耳鼻科醫談】

大連の兒童は言葉遣ひが惡い

幼い時にこの習慣を直せ　お母樣方へお願ひ

大連へ初めて足を踏入れ暫く滯在した人に大連の感想をきゝますと誰の口からもきまつてこちらの兒童、生徒の言葉遣ひが惡いといひます、それほど言葉遣ひが惡いやうですが、大連伏見臺小學校の淺田校長は右について次の樣に語りました

大連　における兒童の言葉遣ひの惡い事は有名で目上の人に對してもお友達に對する時と全く同じで敬語などちつとも使はない樣です、教室でも先生に對し「これでいゝの?」といつた樣に、また「先生が來た、行つた」といふ調子で亂暴な言葉を連發してゐます、お友達に對しても

馬鹿　貴樣、或はお前これやれ、あれやれといつた調子で、運動場などで蜂の巢をつゝいた時の樣に兒童が遊び廻る時、運動場にゐて子供たちの相手を暫くやつてましたら、私たちに理解できぬ色々の言葉を使つてゐるのです、言葉遣ひが惡いと申しても、家庭でこれを許容されてなかつたら自然惡い言葉は使はない筈ですが、家庭で默許してゐるため自然亂暴な言葉を平氣で使ふやうになるのです、この樣な惡い習慣が幼い時につきますと、大きくなつても改めることが困難で

皇室　に關する事をお話するにも自然今まで使用してゐる亂暴な言葉を不敬とも思はないで平氣で話す樣になりますから家庭でよほど注意され、幼い時から上品な言葉を使用する樣指導して欲しいと思ひます、學校でも餘程注意してゐますが、とにかく學校にゐる時間は僅かで、一日の多くは家庭で過すのですから。これと同時にお作法にも、もつと注意していたゞきたいと思ひます、躾方に言葉を仕込む樣子供を大人の型にはめこまうと仕込む事は感心しませんが、いたづらなりにも

子供　らしく、非常識な無作法をやらない樣に家庭人、特にお母さんが注意していたゞきたいものです

赤ン坊には扇風機禁物

使用のこゝろ得

ムシくさ體內より蒸されるやうな近頃の暑さにお座敷に或は店頭にすばらしい勢ひで廻轉する扇風機は嬉しいものの一つですが、この扇風機もどんな風に使用したら衞生的でせう?

とにかく　汗びつしよりになつた時は何も忘れて眞先に扇風機の前に立ちたくなるものですがこの場合餘ほど注意しないと汗ばんだ肌に急に冷風を送るため水分と共に體溫を急に發散し風邪を引き易いのです、ですから熱いからといつて扇風機の直前に立つことは禁物で遠くから自然にうける樣にしたらよいのです、また扇風機は空氣の流通よき室で使用することです、閉めきつた室などで用ひますと塵埃を室一ぱいに立てることになり衞生上よくありません

次に病人　に扇風機がよい筈はありませんが、赤ん坊には絕體禁物です、赤ん坊はこの廻轉する騷音で神經質になることがありますから出來るだけこれを避けて靜かなところにおいて下さい（淺谷醫師談）

ネツトの裏

野球の下駄屋

シーズンに入ると終始商賣臨休　―12―

大連市乃木町九木下長八氏夫人テル子さん（四七）

大連郊外土地支配人木下氏のお宅をたづねてうろうろとロシア町界隈をさがしまはつた末、尋ねあてたのは意外にも子供のまゝごと見たいにさゝやかな構屋とした下駄屋さんでした、肥後川尻の在で生れたといふ體格のガツシリした氣さくなテル子夫人が夫君や坊ちやん方のお留守の間を營業半分にやつてゐるお店で「野球の下駄屋さん」といへばこの邊では誰も知らない者もない野球ファンの一家なのです。

×　×

この小母さん、一氣一派にかたよるなんてケチな了簡はサラサラなく、毎年シーズンになると滿倶、實業兩チームの後援會券を平等に買つて試合一時間前には必ずスタンドに姿を見せるといふ熱狂ぶり「よく打ちよく守る選手なら誰でも好き、殊に外來チームの人があざやかなプレイを見せてくれるのが何よりたのしみです」と本人は仰しやいます、その位ですから大連の選手に就いて智識の豐富なことは驚くほどで一人一人の經歷や特徵の細い所までおぼえてゐる記憶のよさは大連の女性ファン多しといへども小母さんの右に出る人は先づありますまい。

×　×

てる子さんに命のつぎに大事にしてゐる手帳が一册あります、茶色のしやれた表紙をちよつとめくつて見ると中には日本全國の有力なチームのメムバーと、その個人々々の長所短所から、試合の組合せまで丹念に書き込んであります、シーズンになると新聞の書拔きや切拔きをやるのがてる子さんの大切な日課の一つです。

かうしておきますとどのチームに新しい選手がはいつたつてすぐわかるんです、今年は明大がやつて來るさうですがあのショートの高須は昨年松山高商のメムバーとして來た人であのショートは恐らく日本一でせう、外來チームだつて二三度も見るときつと好きな選手が二三人は出來て來ますから餘計面白いんです

×　×

てる子さんは未だ實業團のグラウンドもなかつた大正六年以來の古いくファンで、長男の哲夫さん（大連一中四年在學）が未だ日本橋小學校でレフトをやつてゐた時分など家の仕事も何もほつたらかして毎日小學校のグラウンドにがんばつてゐたといふほどです、……もつとも今だつてシーズンになればいつも臨時休業の下駄屋さんですが今は息子さんも野球が出來ませんが「專門學校へ上つたらきつと野球選手にしてやります」と大變な意氣ごみです。

×　×

悲しいことにてる子さんは數年來著るしく視力が衰へて眼鏡や眼藥の助けをかりないでは滿足に野球見物も出來ないのです、だから試合の前の晩には眠れないたはつて早く床に就き、翌日は試合の前に必ず[illegible]通つて、眼藥攜帶でグラウンドへ通つてゐます【寫眞は[illegible]】

必ず效く有名な漢方秘法公開さる

リウマチ 神經痛自宅療法

足腰たゝぬ難病者續々全快

リウマチや神經痛、せんきはいくら藥を服用しても、病氣の原因から治さねば中々根治せぬもので、たとへ一時は治つた樣でもすぐ再發する。病の原因を治すには、内服療法によらねばならぬ事は勿論でありますが、今時賣出される賣藥は、アスピリンの如き一時的の麻痺藥か或は下劑を主としたる一時押への氣休め藥が多く、原因に對して有效なるものは一つもないと云つてもよい位であります。此樣な氣休め藥を十年のんでも、注射を百本しても、體内にある惡熱毒素を取去らなければ、此病氣は治りません。當院のお知らせする秘法は二千年來の皇漢醫方のもたらせる、排毒藥療法で、病根とも云ふべき痛みやしびれを發作發病する、淋巴腺や骨關節の惡熱毒素を小便と共に取り去りますから、色々と手を盡しても藥をあびる程のんでも、どうしても治らぬ重い慢性の人も、堪へいれぬ樣に夜晝いたむ急性の人も不思議な程よくなるので陸軍海軍の軍醫を始め、權威あるドクトル生田先生臨元醫學博士も有效確實なる事を認められ、實驗證明書を寄せられて居ます。當院では一昨年此の漢方秘法の公開を發表して以來數知れぬ全快者から涙の出る樣な禮狀や感謝狀を隨分澤山下さいます。此病氣でお困りの御方は色々と迷はず、この適確な漢方自宅療法で、健康な身體になつて下さい。本紙愛讀者には無料でくはしくお知らせ致しますから今スグはがきで申込んで下さい。宛名は

大阪府中河内郡布施町荒川　招福院

不景氣時に夏の金儲け

元來夏は金儲のし難い季節であり殊に此頃は右を向いても左を向いても不景氣不景氣と全くイヤになる世の中に存外不景氣知らずに癡勢よく客の這入つて居る商賣がタッタ一ツある夫れはアイスクリーム店であつて何が故に此店だけ客入りがよいか視る處なる程と頷かれる點がある夫れは大阪市浪速區稻荷町一丁目中陽商店大阪本店で製作販賣の當時全國的好評の的となつて居る島羽式永削機付アイスクリーム機を使用してゐる店である同機で製造したアイスクリームは全く上等のもので近所にアイス店が何軒あつても客は皆そこに集つてくるといふ豪勢振りである殊に機械は實に完全で意匠体裁は頗る新味を加へる優雅なもので機械の裝飾わ電氣自家廣告點滅裝置があり凡そ客足を止めるに妙なる島羽式獨特のものなる事を特筆して置く商賣は何に寄なず客に面白味と快感を與へ而して上等の製品を販賣し客に滿足を與へれば千客萬來して金儲も割合樂に愉快に出來る者である。

不姙症を根治して

子寶を惠まれた私の欣び

淋しき想ひに惱む御婦人方に大福音

淺井きみ枝記

【結】婚後愛の結晶たる子寶の惠まれない程淋しいものは御座いません子福者の家庭の賑かさ賑やかさに引かへ愛兒無き家庭の淋しさ物足り無さ浮き立たぬ心の暗さから樂しい家庭に冷たい嵐が吹き込んでまゐりますその果が往々離婦と云ふ悲しき破局を告げるのであります統計によりますと離婚數の入割迄は子寶のないのに原因すると申します

【今】も昔も誠に子は「カスガイ」で御座います、

【地】位も名譽も巨萬の富も優れる寶子にしかめやもの歌の通りで御座います私も永年子供なく有名な婦人科醫は元より溫泉に興藥にあらゆる療法を試みましたが一つとして効果なく到底子寶に惠まれぬものと諦めて居ましたが

【或】時深く私の心を動かしたのは昔より傳へられた藥草の研究では御座いました色々古書を手に入れ稀なる藥草の苦心を重ねて出來上りました十種藥草をこれが最後と生死の境に立つ思ひで服藥致しました

【處】が私の苦心が天に通じましたものか僅か壹ケ月の服藥で姙娠し立派に丈夫な子寶を得る事が出來たので御座います

【此】の喜びを惱める方々に御知らせ致しました爲も今では大多數に上り玉の樣な愛兒を儲けたと日毎に歡喜に滿ちた御禮狀を寄せられて居る次第で御座います

【御】希望の方は　奈良縣生駒町中町二〇淺井きみ枝宛で御申越し下さいませ私の實驗秘訣と多數皆樣よりの體驗錄を委しく無料で御知らせ致します

ぢんぞう 心臟病

根本的自宅治療秘方

どんな手當も藥も注射も効なき急性慢性も、必ずよくなる有名なる秘方をお知らせします。此の秘方は當院に傳はる皇漢醫方腎臟の徹底根本療法でありますから永年起きられなかつた樣な重症者も、短期日に治ります。全快者は余りによくきく此の秘方に驚かれ、早く知つたらこんなに永らく難儀はせなかつたのにと、喜びながら殘念がられる方も澤山あります、お困りの方は病名を書いて、スグはがきで申込んで下さい、當院は人助けの爲に無料でくわしくお知らせ致します。

奈良市西町三一　良威院

りん病にて

更ゆる治療も効めなく悲觀せらるゝ方はハガキで申込次第必治療法敎ふ

大阪市此花區白鳥町九四　日本淋菌研究所

治療遲れは禁物

脊髓病 骨膜炎 リウマチスの名藥

全快と否とは治療一つです

多くの病氣中でも脊髓病は最も難病で、殊に此頃の梅雨期を經へて病症の潜發進行が著しく、知らぬ間に病勢は惡化して遂には醫藥の施しやうもない程度に陷るのであります。この病氣は大低中年から老年にかけて起るが、背髓炎、脊椎炎、脊髓カリエス、骨膜炎、神經痛、リウマチス、其他關節の疼痛などの種々な症狀を以て胃してくるので、患部の痛みは段々はげしくなり、床臥歩行にさへ堪へられぬ位ひまで疼痛が增してくると、仕事に就くことは勿論、異常をもつた神經系統は次第に感覺を失ひ、果ては半身不隨から、身体の各部手足が曲つて不具者の憂きを見るのであります。

それで最も脊髓病に必要なことは治療の迅速でありまして、例へ輕症でも絕對治療遲れの油斷は禁物で、若しも脊髓病の徵候が現はれたら、速座に治療せねばなりません。世間に往々脊髓病で不具になつたり、脊骨が曲つて腐れてゐる人など殿入阿籬の病人は、實に治療を放任した恐ろしい結果です。

これ迄脊髓病の內服藥は殆んどなかつたのでありますが、ここに脊髓病患者の最大の救ひとも云ふべき名藥が初めて現はれ、非常な効果と信賴を以て多數患者に感謝されてゐるのは、脊髓病の革命的新研究と云はれてゐます一日も早くこの難病を臭藥によつて全快するべく左記へ滿洲日報で見た旨附記して御照會下さい。詳しく摘要說明書を贈呈して呉れます。

明石市仲町　大平堂脊髓藥研究所

農家の經濟

害鳥獸驅除嚇音器

二發一厘の世界的發明

農家で最も頭を惱ましてゐるのは收穫を前に控へた作物を喰ひ荒す害鳥害獸の驅除である。汗と血を流して作り上げた折角の作物も一度び被害に見舞はれたが最後收穫量は半減又は皆無といふ慘めな結果を見るので、害鳥獸の驅除と被害防止は隨分頭痛の種となつてゐるが、まだ有効な解決が出來なかつたが、今回この害鳥獸の驅除を完全に解決する世界的發明として害鳥獸驅除嚇音發生器が出現したことは、眞に農家の福音として喜ばしい快報である。

本器の性能の完備は絕大の効力を發揮し、普通銃以上の爆音を以て群集する害鳥は勿論ゐのしし、兎等の害獸に至るまで完全に驅逐するといふ保力絕大の器具で、殊に火藥を使用せずカーバイト裝置の爆音發生であるから危險性絕對になく從つて官公署の許可も要せず二發分一厘內外の超廉價經費といふに至つては實に農家空前の至寶であらう。從來一村等で共同使用の火藥銃は百二三十圓の火藥代を要したが本器は其三十分ノ一以下の經費で目的を達するからこれ以上の經濟化は他に存ぜず殊に本器の使用は農家の害鳥獸驅除用の外靑年訓練所等の演習にも使用され現に各地在鄉軍人會分會聯隊區司令部、靑年訓練所は本器を使用せられ又推奬されてゐるので、農家不況打解のため是非本器の使用を御奬めしたい。詳細の說明書を左記へ申込まれたし。

大阪市西區江戶堀北通四丁目二二　朝日興業所

胸の患者へ

人救けの爲め家法秘藥を無料で進呈

世の中が世智辛くなり人智の競爭が激しくなるに伴つて、最近は殊に胸の病ひが多くなりあたら人生の味氣なさを嘆いてゐられる人も多數あるが、胸の病は最も人體の重要な機關を犯す難病であるだけそれか治療にはやれ名醫だ、名藥だと云つて探し廻つた末が、皆効果なく失望に悲しむ有樣で、病者は勿論家族の惱みを深めてゐる折柄、これは又胸の病氣に一大光明の福音として而も

【人助けの良藥】として服用者の驚喜の的となつてゐる名藥がある。夫ばしい藥劑とは外り、幾百年前創始された家法の名藥で、一度び人助けのため病者の救ひとして發表されるや、長く胸の病に難儀した人もその服用の効果が全く著しく、快方に向つたのに一は驚き一は喜び、非常な感謝を寄せ、その著しい効果は忽ち各地の患者に廣く傳はつて、申込んでくる人は夥しいもので、

【胸の病の惱み】は始めて取去られたと稱言されてゐる。殊に肺結核、肋膜炎、肺氣腫慢性ぜんそく、呼吸困難、心臟息切、キカンシカタル、扁桃腺、肺炎カタル强いセキ、胸や背部の惡性たんつまり等胸の病で苦しんでゐる人はこの驚くべき効果をもつた名藥を服用して喜びを迎へられる樣御勸めしたい。尙左記へ申込めば胸の病の寶典一册と良劑を一回一人限り無料で送ることになつてゐる。

大阪市出入橋郵便局前　芳正園

月やく

世界に名高きクナイ流經劑

世界各國に愛用者を有する泌經劑日本に唯一つクナイ流經劑あるのみ、ドイツ、佛國、アメリカ、イタリー、英國其他諸外國より多數の注文來る。

月經閉止に惱む御婦人に大福音

月經閉止數ケ月迄安全流下請合

原料として創製せるものにして至身體には少しの害なく使用後暫時にして强烈なる特殊の藥が作用を起し完全に流經の目的を達し滿足を得らる、早きは一日の使用にて目的を達せり。

女の一番心配な他藥で効なき方も初めて手當する方もトマリの日數とお年を書いて手紙で御相談あれ最も古き經驗を有し專門家無ひの當院は責任を以て迅速安全に御滿足の出來る樣別名で秘密にお知らせ申上ます(切手廿錢封入の方には濟藥代金引換にて急送す)

他に絕す比類なき良藥を分讓す。本劑は通經藥研究と產兒制限の權威で有名な當院々長宮內先生が一代の大犧牲を拂つて研究に研究を重ねて完成し支那の高尾に產する一キロ二千圓以上の最高貴藥を

本劑は過去十數年間に多數の惱める婦人を幸福に導き偉大なる効果を示せり

責任流經劑

論より證據この事實が證明する禮狀の一例

一例　私も命を拾ひました、今日御蔭樣で効果があらはれ何とも申し樣ない程嬉しく誠に有難く御禮申上げます、私も命拾ひいたしました、近いうちに折を見てお禮旁々參上する考へでございます。　東京府下岩淵町　小野タ〇子

二例　一二回の使用にて氣持よく目的を達しました、この時ばかりは嬉しくて〳〵筆にも言葉にもあらはせきれない樣な嬉しさでした誠に感謝にたへません、御禮を申上ます。　大津市〇〇町　神內〇〇子

三例　昨日郵便局より藥を受取りまして一日使用しましたら夜の十一時頃にあり初めました、ずいぶん早く効あるものだと喜んでをります、早速御禮旁々御知らせまで。　大阪市西淀川區〇〇町　井上ト〇子

來患者は院長又は產婆助産休日なし、大師醫院、大產院の設備あり百人迄入院隨意　ニセモノ多し　クナイ流經劑は大師院の外で販賣せず

大阪市浪速區大國町五丁目今宮中學前　クナイ流經劑本舖　大師院　電話戎一八四三番

滿鐵衞生研究所證明

第三九九號　水質試驗成績書
依賴者　株式會社藤澤友吉商店

試種	一、井水	水濾過水
採酌場所	源	
色相淸濁	微ニ濁潤セリ	無色透明
臭味	異常ナシ	同
反應	アルカリ性	同
クロール	三一・九五〇	同
硫酸	五〇以下	同
硝酸	一五以下	同
亞硝酸	檢出セス	同
アンモニア	檢出セス	同
有機物ノ酸化ニ要スル過マンガン酸カルシウムノ消費量	五・三七二	四・一〇八
固形物總量	二二四・〇〇〇	一二二・〇〇〇
水一立方センチメートル中ノ細菌聚落數	一八・三六〇	一九
硬度(獨逸法)	二・三〇	同
飲料適、否	不適	適

但シ固形物總量以上ノ項ニ揭ケタル數ハ水一「リットル」中ニ含有スルミリグラム數ナリ

昭和七年二月十七日
南滿洲鐵道株式會社衞生研究所

F.29

滿洲國を自治領とし 日本の權益承認
南京政府の紛爭解決案

【上海二十八日發】支那側情報によれば南京政府はリットン卿の要求により滿洲問題解決案として滿洲を支那の自治的領土とする案を過般の廬山會議において議定し、リットン卿の北平出發前夜之をリットン卿に手交したさ、而して滿洲國を自治領とする具體方法は左の如くである

一、滿洲を支那國に所屬する自治領とす
二、滿洲自治領のハイ、コムミシヨナーは支那政府之を任命す
三、支那は日本の滿洲において有する條約上の各種權益(二十一ケ條を含む)を承認す
四、滿洲自治領内には支那軍隊を一兵も駐屯せしめず大なる組織の警察隊を以て治安維持を爲さしむ

日本にも解決案要求
調査委員案作成の參考に

【上海二十八日發】リットン卿は東京到着後日本に對しても支那側に對すると同樣、滿洲問題解決案の提出を日本側に要求して調査團としての解決案作成の重要なる參考とする筈で、若し日本側が回答せぬ際はリットン卿は自身で解決案を別に起草するが、其際は支那側の案が基礎となるものといはれてゐる、而して別項の支那案は昨年九月十八日事變發生以來始めて立案された具體案として内外各方面で注目してゐる

滿洲國承認反對提議
聯盟小國代表がイ議長に

【ローザンヌ二十八日發】臨時聯盟總會を三十日に控へ本日チエコ外相ベンネツシユ、スペイン代表マダリアガ大使ノールウエー代表ランゲ氏等は十九ケ國委員長ベルギー代表イーマンス氏を訪問し調査委員會最終報告書の六ケ月間審議延期決議草案について協議したが、右小國代表等は日本の滿洲國承認に反對し滿洲國の現状維持尊重を主張する條項を提議した

八ケ國組 秘密會合
軍縮問題協議

【ジユネーヴ廿八日發】スペイン軍縮代表マダリアガ氏をリーダーとする八ケ國組は廿八日密かにマダリアガ氏の宿舍において會合しフーヴア軍縮案につき三時間に亘り協議した結果、大體これを承認したが同案中の「國内秩序維持のための警察力」に必要な軍隊とは何程の程度の兵力を意味するや、又は兵員中には訓練を受けた豫備兵を含むや否やに關しアメリカ代表ウイルソン氏に説明を求むることゝなつた

小國側の策動抑制
イ議長の努力

【ジユネーヴ二十八日發】スペイン代表マダリアガ、チエツコスロヴアキア代表ベネシユ氏及びノルウエー代表等は三十日から開かるゝ臨時總會へ滿洲問題に關する決議案を提出せんと企てゝゐるが議長イーマンス氏はリットン報告書を接受するまでは事態を紛糾せしむる如き行動を差控へる方針の下に極力小國側の策動を抑へんと努力し居り、二十八日も前記三氏も會見右決議案の提出を見合せろやう説得に努めたが更に二十九日の秘密十九國委員會においても同問題を審議する事になるであらうなほリットン報告は十月前に到着する見込である

天津事變の再調査
片手落に日本側は不滿

【天津二十九日發】聯盟調査團一行は昨夜九時半天津通過赴日の途に上つたが、これより先リットン卿は秘書ハーモース氏を當地に派遣、天津事變の再調査を行ひ總領事館、市政府、鐵路管理局等を訪ひ同事變による直接損害、貿易商業上の損害等につき支那側とのみ折衝せしめて引揚げたが、この片手落の調査に日本側は大いに不滿を感じてゐる

聯盟臨時總會
三十日に延期

【ジユネーヴ二十八日發】廿九日開會豫定の聯盟臨時總會はイーマンス議長がローザンヌ會議から手を引かれぬため三十日に延期されたが、廿九日午後は十九國委員會を開きイーマンス議長の總會におけるステートメントの起草を行ふ筈

調査團一行
昨夕北平出發

【北平二十八日發】聯盟調査團一行リットン卿以下各委員、隨員十七名、日本側吉田大使以下十七名計三十四名は豫定通り本日午後六時支那側及び各國側多數の見送りを受け渡日の途に就いた

地方部長級更迭
約百名あす發令か

【東京二十九日發】地方長官の異動に伴ふ地方部長級の更迭は出來るだけ速かに斷行すべく廿八日夜内務次官々舍に潮次官、松本警保局長、安井地方局長等參集詮衡協議を遂げ、潮次官は午後十時山本内相を訪ひ大體の人選を報告協議するところあつたが異動範圍が相當廣範圍に亘るのと政友會始め各方面から種々の注文提出されゐる等の關係から發令は三十日となるやも知れぬ狀態である、異動範圍は内務、警察、學務各部長、警視廳部長及び内務省課長級に亘り政友内閣當時の復活組は二三名を殘し大部分整理され、民政系復活五六名新進拔擢に重きを置いて異動總數百名に上る見込みである

地方官更迭に政友の不滿
政友中堅組

【東京二十八日發】政友會の地方官更迭を審議する委員會は二十八日午後五時鐵相官邸に開會、鳩山三土兩相より經過聽取したが今回の更迭には政友會に非常な不滿あるも既に閣議の決定を見たるもので今回は已むを得ず鳩山、三土兩相の態度を承認する模樣である

大和會組織
黨規振肅に努力

【東京二十九日發】政友會の黨規振肅を目的とする中堅組の第一回會合は二十八日午後六時から木挽町川口屋に行はれた、中島知久平、中島守利、田子一民、岡田忠彦、加藤久米四郎、植原悦二郎の各發起人を始めとし三十餘名出席、中島守利氏より

今日の非常時に際し我々黨員は絶えずこの會合を續け黨の指導精神を確立して總裁並に幹部を鞭撻して行く必要あり

と[illegible]結果、[illegible]政策を行はせしめる事に努力し若し齋藤内閣が我黨の政策を無視する態度に出づるにおいては之と衝突をも敢て辭せず、來る臨時議會には寧ろ解散覺悟で勇往邁進すべきであるといふに意見一致し會名を大和會と名づけ今後時々會合し眞劍に對議會策を考究する事とし同十時散會した

官吏身分保障

【東京廿八日發】政府は廿八日の閣議で從來の黨弊による官紀を肅正すると共に官吏の恒久性を確保し官吏をして安んじて職責に專念せしむるため身分保障制度を確立するに決定近く法制局で具體案を作成する事となつた

法律二件公布

【東京二十九日發】臨時議會の協贊を經たる左の法律二件は來る七月一日より施行する旨廿九日勅令を以て公布された

一、兌換銀行券條例中改正法律
一、日本銀行參與會法

青天白日旗を掲げて 外、支人海關員が示威
今朝來突如積極的行動

大連海關問題發生以來、消極的な傍觀態度を持してゐた外人および支那關員は二十九日朝來急に硬化し積極的に動き出し來り形勢さらに重大化せんとする兆がある

南京政府は大連海關問題發生して以來いづれは事件紛糾するものと察し

總税務司

を通じ秘に唯一の英人たるポーター氏に萬一の場合の全權を委任したものゝごとく廿五日邦人海關員轉籍のその日にポーター氏は事實上の海關事務取扱ひのごとく行動し支那人關員は全部その指揮下に屬した、しかして總税務司よりの指令は漏洩を恐れてことごとく暗號で某所を通じて行つてゐるものゝごとく二十八日午前同氏は支那人關員の主なるもの數名を伴ふて某所で會合した事實がある、かくて同日午後四時この結果を齎して

幹部級の

支那人關員十數名が海關階上支那人俱樂部に參集して對策を協議した、その結果廿九日は支那人關員(南京政府より任命された上級者五十九名、現地採用者七十二名)は全部海關に集合し從つて事件以來準頭の徵税處において事實上滿洲國海關員として働いてゐた下級支那人關員は一人も姿を見せず、形勢急變して來たことを思はしめた、ために準頭の現場においては事務に相當支障を來すにいたつたので滿洲國徵税處では彼等が參加するや、殘留するやを明かにするために滿洲國に籍を有する

下級關員

四十五名に對し參集を求め直接の監督者たる前外勤部長矢田劣一氏より説明せんとせるところ、彼等は「ポーター氏の命令なければ一歩も外に出ることが出來ないことになつてゐるから」とて俱樂部より出て來ない、最後に種々折衝を重ねた結果正午會見矢田氏より

決して強制するのではなく、滿洲國に來るも留るも全く諸君の隨意だが、事務の都合があるから速に何分の意思表示をされたい

と述べた、これに對しポーター氏が一同を代表して「明日午前九時までに滿洲國海關に出勤せぬ者は滿洲國海關へ入らぬ者と見做して呉れ」と答へて別れた、なほポーター氏はさらに支那人關員に對し

滿洲國に行くも行かぬも諸君の隨意だが、諸君はなほ支那政府の者だから若し行くとすれば辭表を出した後にせねばならぬ

と言ひ渡し會見を終つた、このドサクサ紛れに海關分離以來引卸されたまゝになつてゐた

青天白日

旗が何時の間にか何人の仕業とも知れずスルくと玆關高塔上に掲げられ、南京政府海關が依然として儼存してゐることを無言の裡に示威した、これに憤慨した滿洲國海關員の手により再び引卸されたが、南京よりは

決して日本政府が危害を加へしむることなきをもつて安んじて舊海關を死守せよ

との秘密指令が來てゐるに非ずやと推せられる節あり、形勢重視されてゐる

徵收處の聽差(支那人ボーイ)
今朝遂に罷業
事務に大支障を來す

支那海關員をシヤツト、アウトして日本人海關員のみで萬全の努力を續けつゝあつた滿洲國財政部關税徵收處は接收以來三日目に至つたが、廿九日早朝思ひがけない支障にぶつかつた、卽ち支那側海關員一同と

別行動を

とり接收以來徵收處にあつて働いてゐた聽差(ボーイ)が一齊にストライキを起した事でこれによつてさらぬだに手不足で事務の活潑を缺き徵税事務の澁滯を見るにいたつたが、中村前副税務司の語るところによると聽差の數は三十餘名、そのうちこの徵收處にあつて事務に從事してゐたものは十餘名、主として書類の傳達、電話の取次ぎ等の雜用に當つてゐたもので萬事につけ不便であると、しかし日本人關員は

更に緊張

の度を加へ殆ど總動員で事務の萬全を圖つてゐる尙午前十一時半頃、愈々妥協の道を失つた支那海關員代表五名は舊海關事務の繼くりの爲め同處に出頭默々として書類を引繼いで行つた、一方右聽差の罷業は支那海關員の入智慧によるものと見られてゐる

【寫眞】(上)は滿洲國關税徵收處の前大連海關矢田外勤部長がポーター氏を外し支那人下級關員に進退回答を促す處(下)は徵收處前に詰めかけてゐる荷主連

長春丸揚荷
靑島で無事了る
上海へはけふ入港

廿七日大連海關が新たに滿洲國財政部關税徵收處とその看板を塗り替へたが、この日新しき關税徵收處の手續きをさつて大連を出帆上海に向つた長春丸に對する靑島上海における支那側海關の態度は今後新しき徵收處に對しこれを如何に見做すかを具體的に表示するものとして海事關係者の等しくその取扱ひ方を注視してゐるところであるが二十九日午前九時大連本社への入報によると「大連海關接收に關する靑島海關の態度は不明」とあり同船は廿九日午後二時頃上海入港豫定であるからその上でなくては結果は不明であるさ、一方滿鐵海運課の調査によると廿七日大連出港長春丸は靑島にて無事揚荷を了した

うすりい丸

三十日午前七時大連港外着豫定

人事

▲京都市會議員滿蒙視察團一行十四名は二十九日午前八時大連驛着列車にて來連
▲田中祐四郎氏(民政黨代議士)同
▲鈴木吉之助氏(政友會代議士)同
▲牧野豐助氏(住友顧問)同上
▲津久井誠一郎氏(三井支店長)同上歸連
▲小須田常三郎氏(滿鐵商工課長)奉天における見本市視察のため出張中のところ廿九日朝歸連

角蛇

滿洲國側と支那側と二ツの大連海關が現れる奇現象。

◇

天に二日は天文學者でも迷ふだらう、況んや通關者に於てをや。

◇

尤も一方の相手支那では國民政府が二ツ出來ても一向怪しまなかつたが……。

◇

官吏の身分保證されて官僚の牙城固し。

◇

折角の名案も事實問題に直面して迷案たらずんば幸ひ。

◇

お江戸名物「ヨシワラ」が銘酒屋街になる、これも時勢。

◇

今更「憐れえ」と泣く江戸ッ子さへありやなしや。

竹中滿鐵理事

【東京特電二十八日發】滿鐵會社に關し政府諒解の事業報告中の竹中理事は來る三日東京發歸任の途に着き途中大阪に於て社用を果し海路大連に向ふはず

重兵營舍移轉

【[illegible]二十八日發】關東軍の[illegible]へと共に[illegible]重砲兵大隊が騎隊に改編され現在の營舍では狹隘を感ずるので近く歩兵聯隊兵營に移轉すると

滿蒙の戰慄 (29)
直木三十五作 淺枝次朗畫

踏出す者(六ノ二)

「政黨も、足下へ、火がついてきたからのう」
「さうだ」
一人は、頷いて
「たゞ、それだけの話だ、何も、農民の負債が、今年になつて、急に五十億圓になつたのぢやない。明治以來、だんだんに、増加してきてゐるんだ。それを、例年知らん顔をしておいて、暗殺が起つたり、政黨否認の風潮が起つたりしたので、びつくりして、平價切下げなんだ。無智、無能を、さらけ出してやがるんだ」
「何を?」
「例年、農民救濟はやつてるぞ」
「何をつて、低利資金の融通さ」
二人は、顔を合せて笑つた。
「あの低利資金融通に、運動なしにくる農民なるものが、食はせ者で、低利資金の融通を受けられるやうな資財を、農民がもつてゐると、政黨が考へてゐたんだから——」
「考へさらんよ、地主階級の奴等がくろんで、次の選擧に都合のいゝやう、そいつらに、融通したのだ。本當に、困つてる百姓は、上京する所か——」
「そうだ」
「今のまゝで、移つて行くなら、暴動が起るかもしれんよ」
「全くだ。俺は、それを考へると滿洲へ行きたくないんだ」
二人は、暫く默つてゐた。
「病根は、遠か、明治維新の時にあるのだから、その淵源たるや、實に遠いよ——明治維新の時に、政府は、銀行をつくつて、田畑で金の融通の利くといふ事を、百姓に、敎へたんだからね。それまで百姓は、田畑が、金に化けやうなど、は、考へても、ならなかつたのだ」
「さうかれえ」
「それさ、俺は、考へるが、もう一つの、根本原因は、都會生活がますます、貨幣本位の生活になるし貨幣の收入の少い農村が、この生活に追從して行かなくてはならんといふ事になつたのが、その第二の原因さ。都會ぢや、月五十圓の現金を收入とするのに、大して困らないが、農村は、それが、普通農の最大額だ。そして、ことごとく、都會流に、現金支出をしなくてはならんやうに、生活が代つてきた所に、農村困窮の一因があるんだよ」
「成る程れ——さうだらうな。農業その物が、近代産業ぢやないんだからね」
「さうさ、原始的産業さ、だから世界中の農業が困るんだ」
「救濟策無しだね」
「根本的に考察せんと、三億五千萬圓の土木事業だなど、——その金が無くなれば、又元の通りだ。燒石に水、その日ぐらし——そんな事しか、考へられないんだよ。農村が、かく疲弊してしまつて、軍隊が、何うなるか」
「それだよ——まだまだ日本は、軍隊が重要だからね」
「それが判つてくれる奴が、軍隊中に、幾人をるか、滿洲も、重要だが、内から崩れては、何んにもならんからのう」
「惡影になるよ」
「全くね」
二人が、話してゐると、一人の將校が、きて
「何だ」
と、叫びつゝ、どかりと、坐つた。

滿洲中央銀行開業公告

一、本行ハ滿洲中央銀行法ヲ遵奉シテ創立シ大同元年七月一日營業ヲ開始ス
一、本行ハ貨幣法ニ依リ貨幣ノ製造及發行ヲナス外營業トシテ預金貸出爲替其他一般銀行業務及國庫金ノ取扱ヲナス
一、左ノ行號ハ七月一日本行ニ合併ス
　東三省官銀號　吉林永衡官銀錢號
　黑龍江省官銀號　邊業銀行
一、本行總分支行左ノ如シ
　總行　新京　城内北大街西四道街
　分行　奉天　城内大北門裡　元東三省官銀號總號
　　　　吉林　西大街　元吉林永衡官銀錢號總號
　　　　齊々哈爾　南門外　元黑龍江省官銀號總號
　　　　哈爾濱　(設置準備中)
　總支行　奉天　城内大南門裡　元邊業銀行總行
　支行　滿洲各地舊四行號の分支行號ハ本號ノ支行トス

大同元年六月

滿洲中央銀行
總裁　榮厚
副總裁　山成喬六
理事　鷲尾磯一
理事　吳恩培
理事　武安福男
理事　劉燏棻
理事　五十嵐保司
監事　劉世忠
監事　闞潮洗

富豪の子供をさらふギヤングが白晝横行
ハルビン市中を神出鬼沒する 自動車を驅る『黒龍』

【ハルビン特電二十九日發】昨今ハルビン市中には黒龍と稱するギヤングが横行し白晝公然と自動車を乘り着けて座り込んだり、富豪や子供を拉致したり、市民を極度に恐怖させてゐるが警察當局も神出鬼沒とも云ふべき彼等の早業には手を燒いてゐる、こゝ二週間內に彼等に拉致されたる富豪の子供は三名もあるので當局もやつきになつてゐた折から當地ロシア商議會頭カバルキンの身邊に數日前から怪しき影が付き纏ふので護衞をつけて警戒中二十八日午後二時四十分頃ハルビン元ホルワツト官舍附近に於て數名の匪賊はカバルキンを拉致せんとして自動車を停めたが護衞及カバルキン自身がブロウニングを以て應戰し暫く交戰したが賊は諦めて遁走した、そのやり口から見て黒龍の一味と思はれる

ハルビンを中心に 機を狙ふ各地兵匪

ハルビン東南方四十支里の大房身には張作相部下より反吉林軍となつた馮占海の率ゆる一萬餘が蟠居し又ハルビンを中心とする阿城乃正、双城堡には大刀會匪約一萬あり互に連絡をとつて反吉林軍と氣脈を通じ去る十九日ハルビンを一齊總攻擊する豫定と傳へられてゐたが準備整はずこれを中止し目下總攻擊の時期を狙つてゐる模樣である、なほ同地方の農民は兵變と匪賊のため耕作することを得ず何れも賊となるか長春以南に避難するかの二途あるのみで既に一部は長春奉天に避難して來た【長春電話】

手兵を率ゐて 馬占山動く
黒軍二隊に分れ追擊

ハルビンよりの情報によれば馬占山は手兵約一千名を率ゐ二十四日三道溝南方に於て通肯河を渡河し我守備隊に擊退され二十六日綏化東北方慶城方面に退去せるもの如く吳松林、鄭文の率ゆる約一千名が之に隨行した、なほ樸旅よりの情報によれば馬占山は木蘭に移動すべき意圖を有してゐる、右に對し黒龍省軍は第二支隊を以て通肯河右岸堤を經て克東方面へ第一支隊を望奎方面に追擊中である【奉天電話】

反吉軍の現在勢力

北滿に於ける反吉林軍の勢力左の如し

一、暫編第一旅團　馮占海騎兵約二團山砲、迫擊砲各一營及び宣傳隊

一、騎兵第一旅　宮長海の指揮する騎兵約千八百、大刀會六百宣傳隊、迫擊砲六、輕機十

一、騎兵第二旅　姚殿臣騎兵一千補充營

一、騎兵第三旅　楊文祥歩騎兵四營、大刀會匪一隊、迫擊砲二、機關銃二

一、第四旅　趙某騎兵百、大刀會百、重機二、輕機五、迫擊砲二

一、第六旅　指揮者不明歩騎各一團

その他李杜、丁超、邢占淸の各旅あり而して反吉林軍は數度の阿城及び哈市附近の攻擊に失敗しそのため方針を變更し南下して王德林、劉萬魁と策應して行動しつゝありその裝備は第一旅は概ね整備してゐるもその他は裝備不良彈丸缺乏して活動の力なし【奉天電話】

東部線の兵匪狀況

東支東部線附近の兵匪の狀況は右の通りである

一、東京城附近千名、同城內に四百、同東方四十キロに約五百

一、劉萬魁の率ゐる四百寧安の附近にあり

一、李杜その部隊は密山にあり

また馬占山軍の狀況は左の如くである

三道鎭、興化鎭附近にありし馬占山軍は一部を北方に主力を以て通肯溝左岸に移動し馬占山は手兵を率ひて海倫南方望奎海豐鎭を連れる以北の線を彷徨することこと確實にして爾後馬占山は呼海線を横斷し綏機方面に脫出を圖るものらしい【奉天電話】

敦化でも蠢動

頭目張振山、于法師及び一顆の率ゐる賊團は敦化より四十支里の頭道河子、同四十五支里の二道河子及び敦化より五十支里の三道河子を根據とし大哈楡樹河の各地でパンを造りつゝあるがこれが完了次第蘇家屯、哈爾巴嶺の二ケ所の總攻擊する豫定であると【長春電話】

愛兒のため…… 母親が水泳練習
神明のプールでバタ〳〵

神明高女のプールに二、三日前から一女性が熱心に女學生間に交つてバタ〳〵から稽古してゐる、この女性は滿洲國海關に勤務する岡田文雄氏の夫人たか子さんであるが夫人が水泳を始めた動機は

「國が京都で今まで一度も海に浸つた事がありませんが夏になりますと本人や子供二人と星ケ浦にまゐりますが、主人はゴルフに參りますので子供の相手が出來ません、子供は海が大好きで時々舟遊びをいたしますが少し沖などに出ますと、私が水に全然自信がないものですからとても恐くてなりません、ですからいつか水泳を習つて自信つけておきたいと思つてましたこの四月聯合艦隊が入港しましたらに岸壁でランチが顚覆し、あの折現場を目擊された私のお友達にそのお話を伺ひましてほんとに恐くなつて、どうかして今年の夏は水泳を習つて水に自信を得ておきたいと思ひましたのです」と語り今後の片岡師範について熱心に練習してゐるが、水に始めて入つて今日で三日目だといふのに十米突位泳げるやうになつてゐる【寫眞はプールで練習中のたか子さん】

潘海線木橋燒却さる
徒歩で連絡中

廿九日午前三時ごろ匪賊の襲擊を受けたゝめ潘海蒼石、南口前間九四粁の木橋も破壞燒却され、六列車から列車の運輸は不通となつたその後應急手當の結果廿九日第一列車から徒歩連絡を開始したが廿九日中に復舊の筈

故大仁田氏 鐵道部葬
瓦房店で執行

去る廿五日瀋海線で名譽の殉職を遂げた瓦房店保線區梁家在勤線路方故大仁田武義氏の葬儀は滿鐵々道部葬として卅日午後二時から瓦房店で行はれるが滿鐵本社からは總裁代理村上鐵道部長以下酒井鐵道部庶務課長、山領工務課長、猪子大連鐵道事務所長等が葬儀に參列の筈

京都市議來連

滿蒙各地を視察中であつた京都市會議員の一行十四名は同市選出代議士田中祐四郎、鈴木吉之助兩氏も加はり二十九日午前八時大連驛着列車で來連したが一行は直に市內各所を見學當地市制並に産業狀況に就き各方面の意見を聽取したが遼東ホテルに滯泊二日出帆うすりい丸にて歸國の豫定である

大喜びの少女使節
八田副總裁の招待 滿鐵社宅で

營口のコレラ患者 また眞性二名
入院警戒中の者十名

コレラ樣症狀で營口海口檢疫醫院に收容されてゐた營口舊市街居住滿洲國人白鬍魁（四七）高齋氏（二八）の兩名は細菌學的檢査の結果廿八日午後十時眞性と決定したので營口の眞性コレラ患者は合計四名となつた、なほ同醫院にはコレラ樣症狀で入院中のもの十名あり、そのうち一名は廿九日朝死亡したので目下嚴重檢査中であるが現在までには眞性か否か判明しない、なほ高氏は廿八日眞性コレラと決定した高長順の母である

防疫が行屆き 心配が少い
千種滿鐵衞生課長談

これまでのやうに海關、支那側、日本側が協調的な態度方針をとることが出來なかつたならば今度ももつと多くあちらこちらに發生したのだが幸ひ今年は日滿および海關とが全く協力して防疫に努めてゐるからそうした心配は非常に少ないのだ、今後共協調を保つて怪しいものはドシ〳〵病院に收容する筈でこれは不幸中の幸とも言へるだらう

愈よ營口線 檢便開始
海務局の方針

上海、天津方面のコレラは遂に營口に迄蔓延し續々新患者の發生を見漸く危險は近くに迫りつゝあるが二十八日また〳〵四名の新患者發生の報に當地海務局は極度に緊張し愈々營口より入港船舶に檢便を實施する方針に決定し目下その準備中であるが、各自に於ても充分豫防注射等最善の方法を講ずる樣望んでゐる

全滿大會 豫選會
明日申込締切

本社後援の下に七月上旬（時日は主將會議に於て決定）擧行する全滿軟式野球大會豫選會は左記規定の下に三十日を以て申込を締切るが參加希望者は至急申込まれたし

▲出場資格　各會社商店銀行內にて編成したるものは何れのチームにても差支へなきも同一人で二チーム出場は許さず但し滿鐵は各課所を以て編成す

▲申込方法　選手氏名監督名を明記し代表者名を以て申込みのこと但し必ず參加料二圓を添へること

▲締切期日　三十日限り

▲申込場所　連鎖街體育堂運動具店內日本軟式野球協會滿洲支部

▲使用規則　協會規定ルールによる

▲使用球　協會公認の青年用ボール

▲服裝　運動シヤツゴム靴或は足袋着用のこと

本豫選會優勝チームは八月上旬奉天に於て開催する全滿洲豫選會に派遣する筈である

吉原の轉身 銘酒屋へ
不況に喘ぐ

【東京二十九日發】大江戸唯一の傳統を誇る吉原も打續く不況と遊興機關の進出と一方廢娼續出の現狀に鑑み何等かの轉身を圖らんとし公娼廢止運動の闘士星島二郎氏に相談して具體策を考究中なる事が昨日神宮外苑日本青年會館に開かれた全國廢娼同志大會で星島代議士から報告され非常なる衝動を各方面に與へた、卽ち轉身の方法は形式的公娼を廢止し手段的銘酒屋にならうといふに在る、吉原の廢娼運動に要する費用だけでも年々數萬圓に上るといふ事である

總會を開き 紛糾解決
カフエー組合

內訌を生じてゐた大連カフエーバー組合は過般石井大連署長の調停により圓滿握手し二十七日午後四時から緊急總會を開き役員選擧を行つた結果組合長杵養軒汐田庄助、副組合長リリー野添重治、黒猫上野光曾、みかど川瀨信吾の諸氏が推され、評議員十三名も選出された、しかして過般飮食店聯合會脫退の聲明は撤去し從來通り聯合會に加入提携して行くことゝなつたが會費徵收の件は今後組合長の完納の證明を大連署に持參せぬ限り女給の認可その他保安事務を警察に於て受理せぬといふ强制的制度が設けられたので從來の如く感情問題から會費を滯納するが如きことは絶對出來ぬことゝなつた、かくて一時紛糾せさした脫退問題も漸く元通り納まり午後七時三十分散會した

信陽武昌間の列車不通

【河南二十八日發】全部の共産軍猛運動開始により平漢線信陽武昌間の列車不通となつたので當地鐵道當局は本日より毎日午後八時三十五分北平發信陽直通列車を運轉する旨公布した

あみだ會に 總裁が出席

あみだ會では內田滿鐵總裁の歸連を機に廿九日午後零時半から大連ヤマトホテルで內田總裁を加へ久し振りにあみだ會を開いた

徒弟教育が必要
道家專修大學教授の視察談

專修大學常務理事で同校教授たる道家齊一郎氏は同校教務課長山田政太郎氏と同伴して朝鮮經由來滿し奉天、長春、ハルビン等を視察の後二十八日午後八時半着連大連ヤマトホテルに投宿したが氏は二十九日午前本社を來訪して語る

滿洲國が出現したので滿洲國教育界の現狀並に今後の教育事情について是非一度實地に視察する必要を痛感し東方文化事業の關係もあつて今回來滿したのですが長春では新國家の教育方針其他につき實際方面において努力してゐられる文教司員上村哲彌氏にもお目にかゝつて種々御意見を伺つたが遉がに多年滿洲において研究されて居るだけに肯綮に當るものが多く非常に參考になつた、滿洲國の教育方針として私の感じた處も矢張り高等教育のみに重きを措かず成るべく實際生活に必要なる智識を涵養せしむる事、卽ち實業教育就中徒弟教育に全力を盡すことにしたがよいと思ふ、普通教育の如きもさう急ぐ必要はないと思ふ、從來國民政府の方針による排日教育については教科書の改編は勿論凡ゆる方面において深甚の注意を拂ひ根本的にこれを打破し努めて日滿國民の親善に導くやうにせねばならぬ事勿論である、滿洲國青年の日本留學に便宜を圖る事も決して惡いとはいはぬがその學生については餘程富人の思想なり環境なりを調査して選定宜しきを得ぬと却て惡結果を招く惧れが十分にあると思ふ、私達は一兩日當地に滯在し青島、上海等を經て歸國する豫定である【寫眞は道家氏】

●ヨネ殿へ……解決出來る、安心せよ 直ぐ居所知らせ 嘉祐

十五年振で 親子對面
大檢の六〇

十五年前養女にやつた娘が行方不明となり、年老た兩親が後生の思ひ出に一度娘に會ひたいと八方心當りを搜した結果、大連で藝妓稼業をしてゐることが判明大連署保安係へ親娘の對面を願つて來た、同署で取調ると搜す娘とは大連市磐城町六六番地藝妓置屋富屋こと松岡センの養女六〇事松岡富美子（二三）と判り、近く警察の肝入りで十五年振りに親娘の對面をさせようとしてゐる

藝妓六〇は長崎縣北松浦郡津吉村石松豐次郎の長女に生れ彼女が八才の時、家庭の都合で當時廣島市居住の松岡センの養女に貰はれた、其後松岡は大連へ渡り置屋を開業、養女の富美子も藝妓に仕込まれたものであるが爾來實家には全く音信不通となつてゐたものである

淡路クラブ優勝

日本軟式野球協會滿洲支部主催大連新聞後援の早起野球大會優勝戰淡路倶樂部對南山倶樂部戰は廿九日午前六時より大連一中球場に於て大森（球審）小仲（壘審）兩氏審判南山倶樂部先攻で開始したが大接戰の末淡路倶樂部辛勝し優勝旗を獲得した閉戰七時二十分

南　０００００００００　０
淡　０００２００００Ａ　２Ａ

（淡路）增河（三）小磯（左）小黑（一）杉田（投）柴井（中）田原（捕）田西（遊）木本（右）川田（二）上
（南山）江洲（遊）南田（一）快金（左）澤野（捕）間賀（三）永馬（二）小神（右）氣堀（中）友木野（投）

星ケ浦へバス

滿電バスでは星ケ浦行き海水浴者のため來る十日より八月卅一日まで毎日午前八時より午後六時まで常盤橋より星ケ浦西門間の臨時バスを運轉することゝなり廿九日沙河口署へ願出た

ガス自殺未遂

二十八日午後五時三十分頃市內近江町百五十三番地の滿鐵鐵道部經理課勤務佐藤眞美氏方から猛烈な瓦斯の臭氣が洩れるので隣家の者が怪しみ駈けつけて見ると表戸は堅く閉されてあつたので窓を破壞して室內に入つて見ると佐藤氏の妻大村靖子（二二）が六疊の寢室の蒲團の中に瓦斯管を引き込んでくわへ昏睡狀態におち入つて居るのを發見直に最寄醫師に依り手當を加へた結果生命を取止めた、原因は靖子は目下妊娠六ケ月で生れ出る子供の行末に付いて非常に心配し感傷的となつて居たので發作的自殺をなしたもの、枕許に夫にあてた遺書には「子供といつしよに死んで行きます、いつまでも子供といつしよに暮して行きますから安心して下さい」と子供の事を書き殘して居る

警務局長會議

奉天警務署においては七月一日午前九時より遼陽及び滿鐵沿線十三線の警務局長を招集し高粱繁茂期における匪賊の跳梁及び傳染病豫防等に對する對策協議の會議を開く事となつた【奉天電話】

通化で鹽缺乏

爆擊後の通化は漸次人心安定しつゝあるも目下食鹽缺乏しあと一ケ月をさゝへるに過ぎざる模樣で憂慮されてゐる【奉天電話】

家出二束

旅順青葉町六六番地樂器商高田透方店員河野英敏（三〇）は二十八日午後一時ごろ主人の金六十四圓を携帶し行方不明となつた、警察で取調べた結果大連から朝鮮方面へ逃走したらしく搜査中

× ×

市內黃金町五三番地馬場香の弟嚴（二二）は數ケ月前から家出行方不明であるが徵兵適齡に達してゐるので見から大連署へ搜査を願出た

× ×

遼陽居住高橋正義（二四）は四十三歲といふオールドミスと手に手を取つて家出し二十八日夜行で大連へ向つた形跡があるので遼陽署から大連署へ取押へを依賴して來た

× ×

市內但馬町十七番地吳服商鈴木彌三郎方店員古坂金藏（三四）は二十八日午後五時三十分ごろ集金百圓を拐帶逃走したので大連署へ搜査を願出た

素人下宿取締

小崗子署管內では最近素人下宿が多くなりその內の殆どは純然たる素人下宿でなく本物の下宿業に近いものであるため同署では保安衞生の見地から嚴重なる取締を行ふと共にこれ等下宿業に近いものに對しては正式に許可主義を取ることになり廿九日より調査を開始した

傷害の告訴

市內西公園町六五番地尾本正信は去る九日午後五時半ごろ自轉車置場のことから隣家の猪谷英一の妻と口論中猪谷方から二名の男が飛び出し尾本を屋內に引ずり込んで毆打し全治十五日間の打撲傷を負はせたといふので猪谷妻外二名を相手取り二十九日大連署へ傷害の告訴を提出した

小崗子蠅取デー

傳染病流行期に入つたので小崗子署衞生係では來る四日より七日間管內一齊に蠅取りデーを實施するが期間中は小崗子署では署員總出で監督に當り各家庭では蠅發生箇所には殺蟲劑を撒布せしむるやう居住民と一致して徹底的に蠅取りデーを行ふと

吉永の生ビール 市內濱町三丁目吉永酒場では今回デンマルク、カールスベツグ會から優良生ビールを直輸入し二三日前から賣出しビール黨に歡迎されてゐる

天氣豫報

南の風曇り處に依り驟雨模樣あり

滿潮（午前八時十五分 午後八時十五分）

干潮（午前八時 午後二時三十一）

けふの小洋相場（正午） 金百圓は一五四圓七〇錢

會葬御禮 田村周太郎 田村次郎 田村四郎

三女隆子儀急病にて當地滿鐵病院に入院加療中の處養生不相叶本日午前十一時十分死去致候間御通知申上候 追而來る三十日午後四時四平街便新街宜會にて告別式相營み申候 昭和七年六月二十八日 父 飯島慶藏

街頭は愉快なり

新居格

「街頭は愉快なり」といふのは、僕の友人のモットオだが、その友人は暇さへあれば歩き廻つてゐる散歩好きで、彼は「小僧が自轉車で走つて來たのが、ひつくり返つたり、自動車が風を切つて疾走したり、兎に角街頭には動きといふ點に何ともいへぬ、生きた流動性があつて、是を見ることは實に樂しい」といつてゐる、そして本を讀んだり文章を書いたりする以外は何時も外を歩き廻つてゐて如何な心配事があつても街頭へ出れば愉快になるといつてゐる。

彼は必ずしも友人が多い譯ではない、只街頭を此の上なく好いてゐるのだ。

僕は彼のその言葉を訊いて、誠にもつともだと思つた。

僕等は彼と同樣「街頭派」の一人である。

×

よく晴れ渡つた日など、新宿驛あたりのプラットホームに立つてみる。

僕はあれから南方遙かに、うす紫色に烟つた連山があつて、雪溪をよぎつて、はつきりと浮び出てゐると云ふ樣な事を想像する。

そして、其の山の麓には長閑な溫泉場があつて、靜かな日々が明けては暮れて行く。

――斯んな幻想は僕を非常に愉快にする、街の入口の驛のプラットホームであるのに何か、スキストあたりの山の中にある、小さな驛でゞもあるかの樣な氣になる。

×

僕は年寄りだが、春になると青年だちの樣に元氣で「街のフアウスト博士」氣取りでぶらぶらと歩き廻ることが多くなる、尤も僕は「フアウスト博士」ほど學問は無いんだが。――

此の場合には、僕の所謂「街上の友」と云ふのに多く出會ふ。「街上の友」と云ふのは――

何處に住んでゐるのか、何と云ふ名前なのか、一切知らず、只此方では顔だけ知つてゐて、ぱつたり行き合ふと輕い挨拶をしたり、一緒になつてお茶を飲んだりする友人連中なのだが、斯うした友人が銀座にも新宿にも可成りに多い。

出會ふと「如何だい景氣は良いかね」などと云ふが、何をしてゐるのか知らない友人が多數にある。

――此の間も、高圓寺の驛から省線電車に乘らうとしてゐると、愛稱してハル公と云ふ以外は何も知らない「街上の友」の若い女性に出會つたが、ハル公は僕の乘らうとする電車から、降りて來て片足をまだ電車にかけ乍ら僕を引き戻して「此の電車は駄目よ、餘り綺麗じやないわ」等といふ「何してるの」と例の調子で尋ねて見ると「働いてるの」と答へる「何をして」「ハダカになるのよ」僕は驚いて「ハダカつて云ふと」と聞くと「モデルになつたの」と明るく笑ふ。

「結婚をしやしないか畫家たちが」「そんな事すれば是よ○○」と、ハル公は兩手を拳にして、拳闘の恰好をして明るく笑つた、朗かな若さを感じさせる女性だ。

高圓寺驛で降りたが、何處に居るか、何と云ふ本名か、一切知らない。

ハル公などは興味的な「街上の友」の一人である。

×

僕は「街上の友」の身元調べなど強てしない、名前も住所も職業も、知らぬなら知らぬ儘にして置く。

今日會つて別れゝば、今度はいつの日に會へるか判らない、總てが「偶然」によつて支配される、この場合の「偶然」は、甚だ愉快で、朗かなものだ。

その折々に出會つて話する興味で、何處々々で――と云ふ背景は偶然に委せてしまふ。

何時會ふか判らず、また何等の規律もなしに會へる、所謂この「街上の友」は、僕にとつては街頭を愉快ならしめる、確に一つの大きな要素である。

僕の數多い「街上の友」たちは僕の散歩を明るくする。

×

都會人は段々、人みしりをせぬ樣に馴らされて行くのではないかと思ふ、是も都會の持つ特徴の一つだ。

或日上野の驛の、プラットホームに立つてゐると「街上の友」の青年が一人やつて來た「もう歸りかね」と僕は例に依つて、何處に勤めてゐるのかも知らぬが、上野驛へ下車したし、時間は夕暮れで會社の退け時だし、多分日暮里か田端か其の邊から來たのかと思つて聲をかけた「景氣は如何かね」

青年は「やあ」と云つて笑つて「時に一つ、イサドラダンカン流の踊りを見て呉れませんか」と云ふ「うん結構だね」と答へると青年は手にしてゐた黒いカバンから座席券を取り出したが、すぐ考へ直して、これより良い奴をお宅へお送りしませうと――そんな約束をした、僕はお茶が飲みたくなつたので「どうだね、どつか其の邊でお茶を」と驛の近所へ行かうとすると、青年は「じや、好い所へ行きませう」と案内するやうに先に立つた。

驛を出て、山下へ出て、更に廣小路へ近くなるので「君まだかね大分遠いのかね」と訊くと「いや其處です」と、入つた所が廣小路の風月堂だつた。

「一寸其の邊」と僕等が云ふと、上野の驛前邊だが、青年の言葉では廣小路の邊までが「一寸其の邊」に入つてしまふので、今の若い人たちの考へ方と、僕等のそれとの間に大きな違ひのあるのを知つて一寸驚いた。

其處で踊りの話を色々して別れたが、二三日すると約束通り其の青年から手紙が來た、中には招待券が入つてゐたが、此の手紙でその青年の名も初めて判つたが、住所を見ると赤坂一つ木なのだ。

僕はその前の日上野驛のプラットホームで「歸りかね」等と云つたが、手紙で見ると赤坂に住んでゐるので、實に歸りでもなんでもなかつたのだ。

「街上の友」その間では、ときどき斯んな風な愉快な間違ひを演じる。

僕は甚だ面白いことだと思つてゐる。

×

ロシヤの、カーメンスキーと云ふ作家の作品に「白夜」と云ふのがあるがそれに出て來る主人公の青年は仲々面白い。

何かの事で、彼は街を歩いてゐて、ふと辯護士の家の前を通りかゝる、見ず知らずの人なのだが、彼はその辯護士と何と云ふ事なく話がしたくなつて、家に入つて行くと、事務員が出て來て、辯護士は留守だが、もう歸つて來るからと云ふので待つてゐる、そのうち辯護士がやつて來る、辯護士は青年を見るなり「君の事件は――」と訊く「別に事件はないんだが、僕は此の家の前を通りかゝつて、ふつと君と話がしたくなつたので來たのだ」と彼が答へる、辯護士はそれを聞くと「じや用がない歸つてくれ」で、往來へ突き出される。

と、彼の前方から一人の老紳士がやつて來る「やあ、暫く」と彼は馴々しく近寄つて行く。

老紳士は大變けげんな顔をして「私は貴郎を知らないが、誰ですか」と云ふ、彼は「私だつて貴郎を知つては居ないが、是非若かりし時代の、あなたの青春の話でも聞かせて下さい」と云ふ「然し私はあなたとは一面識もないのだ」と老紳士の云ふのを「そんな事もない、トルストイを讀み、ドストウエフスキーを知り、ツルゲネーフを愛し、そして私もあなたも同じだとか、同僚だとか、同窓だとか、知り合つてゐるとか、ゐないとか、その他諸々のことで、人の間には種々の障壁があつて、人間同志自由に話合ふことが出來ない、これは甚だ不合理な話だ」

――と此の小説の、カーメンスキーの「白夜」の中の主人公は云ふのである。

×

僕は最近から斯う考へてゐる。

日本人は、ロシア人より、何處の國の人間より、甚だしく人みしりをする人種だと。

我々が犬を連れて散歩をする時に、犬自身は、自分の知つてゐる犬に出會つた時には、和やかに挨拶をかはしてゐるらしいが、一旦知らぬ犬と出會ふと、お互に烈しい勢ひで吠え合ふ。

少年時代を僕は田舍で過ごしたが、小學校の頃の爭ひなど考へ起してみると、同じ學校の少年たちとは喧嘩をしないが、他校の少年と聞くと、妙な敵對感情が起きて來た樣だ、斯うした事は、甚だ犬の場合と似てゐるのだ、我々には未だ原始的な尾底骨が殘つてゐる。

僕の「街頭友」たちは、さうした事から考へて行つてみると、何か一つの意味を持つてゐはしないかとも考へてゐる。

國文教科書に現はれた現代文

西尾眞

數年前までは、中等國文教科書には矢たらに現代の小説家、戯曲家、詩人、歌人、俳人の小説や、戯曲や、詩や、短歌、俳句又は論文、隨筆、紀行文が集められてゐたのである。教科書編纂者は他の本に出てゐないものをも物色して驅け出しの新進作家の文章まで掲載した。正に濫襲時代であつたが、その後文部省の檢定が八釜しくなつた爲めに、精選時代が到來して何でもかでも新らしい作品、文章といふ事でなく、相當讀本的に吟味されて來たのである。即ちその作品、文章の國語的正確さやその作品、文章の内容的な方面が檢討され、ひと頃のやうに藝術品であればいい、文學作品であればいい、目新らしいからいいといふ傾向を清算したのである。しかし國文教科書中の現代文は現在に於ても多數であつて、多く明治以來現在までの文學者のものである。

明治時代教科書はどうであつたかといふと、現代文の文章は多く學者思想家によるもので、その現代文そのものも極少量であつて大部分は明治以前の人々に書かれた文語體であつた。紅葉山人の硯友社時代、日露戰爭後の自然主義時代と小説は社會的にも有力なものとなつて來てゐたに拘らず、文學者の文章と教科書に掲載する事はどの本よりも殆どなかつたもので明治四十一年までに出たものの中に、僅に藤村の詩が二篇、獨歩の非凡なる凡人、二葉亭の犬ころ、この三種あるのみである。明治四十一年十一月には坪内逍遙先生の編纂する中學新讀本が出たのであるが、その五冊からなるものゝ中にも、文學者の文章は一篇もなく先生自作の山彦海彦、戰爭の事を文語體で書いたものが三四篇、これ等が文藝的なものであるのみで他は多く古文であり、自然科學の話であつた。かういふ傾向はすべての明治時代の教科書に共通するものなのである。

かの言文一致の文體が、初めて教科書にとりいれられたのは落合先生の手によつたものでこれは明治三十六年刊行された。それも平かの文章としての言文一致でなしに勝海舟の談話筆記として出た。しかしこれは言文一致の文章として立派なものであつた。で以上をせんじ詰めると、明治時代には、現代文の軌範をどの文體にすべきかに迷つたといふことが見られるのである。即ち現代文を文語體にすべきか、或は言文一致の口語體にすべきか、迷つて終に落つく所を見ないで明治時代は終つた。其爲明治時代の教科書には古文、學者思想家自然科學者の言語體が多く、口語體の文章を持つ文學者のものは殆どとりいれる事が出來なかつた、それは又現代文の意義、つまり同時代の文章が果して教育上どれだけ價値をもつものであるか、といふ點も深く吟味されて居なかつた事にも依るのである。これ等は實に今日から見れば甚だ意外に感じられるのであるが、當時はさうであつたし、それが又明治時代の特色であつた。而して大正時代に這入ると、文語體と口語體の位置が轉倒し、且文藝物が進出して來て、ひと頃の樣な現代作家の小説中の一章、詩、紀行文等の濫襲を見、更に最近に於てはそれ等が淘汰されて、精選時代に這入つたのである

ユニオンビール

見よ！この圧倒的支持!!

貳萬六千七百餘軒を有する大東京料理飲食業組合聯合會及壹萬貳千參百餘軒を有する東京府五郡料理飲食業組合聯合會並に貳千四百七十軒を有する東京待合組合本部が本年度の總會に於て滿場一致で左の如く「決議」致しました

大東京全部の酒類商がユニオンビールを擧って組合の指定品と決定せらる

決議

日本麥酒鑛泉株式會社釀造にかゝる**ユニオンビール**は品質最も優良にして而も其販賣方法は時代に順應したるものと認む依而本會は之を支持す

昭和七年五月廿五日

大東京料理飲食業組合聯合會

決議

本會に於て昨年支持したる**ユニオンビール**は品質優良にして顧客の鑑賞を受け且日本麥酒鑛泉株式會社の營業方針は時代に順應したるものと認め本年度に於ても之を支持す

昭和七年五月二十八日

東京府五郡料理飲食業組合聯合會

決議

ユニオンビールの品質が優良であるため前年本組合は勉めて**ユニオンビール**を愛用する事を申合せ顧客に勸めたところ非常な歡迎を受け反って顧客から指定される狀態であるので去る三月十二日本年も**ユニオンビール**を支持する事を決議した

東京待合組合本部

斯くの如く東都の業界が一致團結して**ユニオン**を支持推奨するのみならず本年に至り需要激増しつゝある事によつて**ユニオンビール**の優良なることが立證されましたどうぞ一層の御聲援と御愛飲あらんことを御願ひ申上げます

BEST LAGER BEER
UNION
NIPPON BEER KOSEN CO. LTD. TOKYO JAPAN

宮内省御用達

三ツ矢サイダー 製造元 日本麥酒鑛泉株式會社 東京・大阪・名古屋

キャンプの話

盛んなアメリカのキャンプ生活
集團と個人の利害

キャンプの話をする前に他山の石としてアメリカがその國立公園にどんな施設をしてゐるか少しく述べたいと思ふ。アメリカの國立公園を訪問するものは昨年は二百三十五萬五千人であつたが今年は是非三百萬人にしやうと當局は意氣込んでゐるといふ。

國立公園の施設は三通りであつて、第一は避暑地のホテルである。滯在は一日十弗から十五弗まで、一流のホテルに劣らない上等のものである。しかしこのホテルの外觀は、山の中といふ環境に調和するやうに、外から觀ると、丸太小舍のやうであるが、それは鐵筋コンクリートを巧に丸太のやうに工夫したのであつて、内部の設備などは、電燈、水道その他一切、都會のホテルと同樣完備してゐるその大なるものになると、百くらゐの部屋のあるものがある。

第二にロッジ、システムである。これは中央に食堂や娯樂室があつて、その周圍にバンガロー風な小さな建物が並んでゐる。一種のキャンプであつて、この小さな建物の中で、一家族が一夏送るのである。自炊も出來れば又食堂のものを喰ふことも出來る。娯樂室はそれを取巻く新家族の社交場のやうな譯である。これは是非日本でもやつて見たいと思ふ。食堂の給仕は大學生や、女學生で夏休みを利用して働きに來た連中なので、賑かな學生氣分でサーヴィスするから、行く人達は皆滿足するのである。上高地あたりにこのロッジ、システムを實現したいものと思ふ。娯樂室では、音樂や、映畫や名士の講演があるので、附近のホテルの客までも、晩になるとやつて來て、最後にはダンスの會がある。至極快適な避暑法であると思ふ。

第三は自動車を利用したキャンプ、自動車に工夫をこらして寢臺を造つたり、一切の荷物を自動車に積込み、公園に這入つてキャンプをやる。この人達は全入園者の七十五パーセントを示してゐるやうである。これには自分の車で行くものもあり、乘合自動車を利用して行くものもある。この人達のために公園の係りの人がいゝキャンプ、サイドをあらかじめ調査する。卽ちキレイな飮料水、洗濯用などの雜水や、たき木の多い所、景色のよい所といつたキャンプにふさはしい場所を選定し、電燈や洗濯場や、たき木等の設備をして置く。又賃貸しするテントなども用意して置く。ヨセミテあたりではこの種のキャンプが一晩に二萬五千人位あるさうである。日本は未だ甚だ稚々たるもので、上高地と云つても年に三萬人位である。

これ等の施設費は、ホテルやロッヂや、避暑客相手の水菓子屋等の店に稅をかけたり、自動車の入園料を一臺五弗までとつたりしてこれにあてるのであるが、年にそれが七八十萬圓に上るので、大體收支償ふさうである。このやうにアメリカのキャンプは大體景氣がいい。

日本のキャンプは登山からはじまつた。明治時代は山小舍と云ふものは殆どなかつたから、皆山に這入ればキャンプをしたし、又近年山小舍は相當發達したが、採光通風がよくなかつたり、蚤などが居たりして、山小舍に寢るよりテントに寢た方が氣持がよく、又費用も安上りである。しかし登山家のキャンプや、軍隊のキャンプなどより、ずつとボーイス、カウトの集團的なキャンプが、キャンプの發達を一般的に刺戟したやうである。ボーイス、カウトのキャンプはアメリカのそれのやうな享樂的なものでなく、人間修養の爲にやるものである。五百人千人位のテント村を造り、その小さな社會で、集團生活の常識行爲を體驗的に修得するのである。又これと同樣の趣意の下に、先年水戶近くで、青年訓練の青年團が三萬人近く集つてキャンプ村を造つた事もある。單獨の五六人位のキャンプも亦よいものである。山頂の靜かな所で焚火しながら過ごす夜の味は又とないものである。それは嚴な自然を前にして、自己の心を澄ます所のもので、實地その味を知つてゐるものでないと解らないものだ。

扨集團的のキャンプがいゝか、小人數の方がいゝか、と云ふと、私は最初は大勢でやり次に單獨で行ふと云ふ風にしたいと思ふ。或る所で私は見たのであるが、地面の上に新聞紙と油紙一枚だけ敷いて寢て居たり、他人のハンゴーを失敬したり、白桃の皮をはいであたりを穢くしたり、路に大便をしたり、實に不衞生不行儀極まるキャンパーもあつた。これではならぬ。最初は大勢のキャンプに這入り、よき指導者の下に知識を獲得したり、大勢の中でしてはならぬ事と、しなければならぬ事を會得し、一通りキャンパーとしての訓練を卒業してから、小人數で出かけて行く。中學生徒が單獨で行くのは決してよくない。自由と放恣を穿き違へ、山の中で自墮落な生活をするのである。

支那の珍風景

西瓜攫ひの龍巻

浙江省の溫泉は龍巻きが一ツの名物となつてゐる、毎年一、二回はキットこの龍巻きのために人死があるので怖ろしがられてゐるが二、三年前にも可なり猛烈なのがあつた。この時襲はれた村は丁度西瓜の出盛り時分だつたので、數ケ村の大小西瓜が殆どすッかり龍巻きに掠はれて、大分離れてゐる村里一面に幾千百といふ西瓜をまき降らしたことがある。これが爲め西瓜に襲はれた村の人間共は腦天をヤラレて死ぬ者や重傷を負ふ者數知れずと言つた噓のやうな事實を殘した。この怖ろしい龍巻が起る前には必ず海が騷がしく、東で怒鳴つた聲が西から聽こえたり、西で叫んだ聲が東に聞えると言はれてゐる

虎が人妻を媒介

虎が人の恩義に感じて人妻を媒介したといふ話がある。貴州省の普定縣に張雪といふヤクザ者がゐた獨り息子だといふのでヤリ放題の放蕩者となり兩親が死んだ時分には一人前の惡漢になつてゐたので、土地の者は一人として相手にするものも無くなつて了つた。親が殘した財產は餘すところなく叩き賣り、家も無ければ喰ふにも困る窮狀となつた張雪は惱んではゐたが、人の軒下に夜露を凌いでゐたが、それすら村人の迫害に遭ふ始末なので、たうくある山寺の椽の下に乞食のやうな生活をすることになつた。惡因惡果、張雪が唯一の根城としてゐた、その山寺も間もなく火を失して燒けて了ひ、彼は燒殘りの木や板を圍つてやうやく小屋を造り憐れな生活をつゞけてゐた。或日のこと突如として小屋の傍らに一匹の大虎が現れ張雪めがけて襲つてくるやうだつた。驚いた張公の奴一目散に逃げ出すと、虎も彼の後を追つてくる、しかし別に危害を加へやうとする樣子も無い。そこでヨクヨク見ると、件の虎は身體中傷だらけだ。その呼吸使ひから見ると餘程の重傷らしく、張雪に向つて助けを求めるやうな目つきなんだ。張公の奴大いにこの虎さんに同情し、それから幾日か件の虎と同居して、喰ひものはやる傷の手當はしてやるので、ありつたけの親切をつくした効あつて、傷も癒り再び元氣を回復した。この虎さんが張雪に厚く禮を述べて山中深く歸つてから四、五日のちのことだ。件の大虎は再び張公の小屋に現れたかと思ふと、縹緻の好さゝうな女の悲鳴が聽こえてきた。張公が出て見ると驚いた。大虎の口には山麓の林といふ樵夫の娘がクワヘられ、眞青な顏をして悲鳴をあげてゐる最中なんだ「オイ虎さん！その娘は以前からオレが惚れてゐた娘なんだ、助けてやつてくれ、賴む虎さん！」と怒鳴つたかどうか知らないが兎に角張の前にその娘をクワヘてきて、口から放して了つた。どうしたことだとその娘に聞くと、その日娘は父の林と一緒にいつもの通り山に入ると、突然この大虎が林を一擊の下に叩き殺し、悍いて逃げやうとする姿を口にくわへてここまで伴れられてきて了つた、といふわけだつた。爾來道樂者の張雪はスッカリ性根を入れかへ、娘の父の樵夫となつて樂しく毎日を送り今でもそこに住まつてゐるといふ。勿論その娘が張の愛妻となつたことはいふまでもない。

なんせんするーむ

▲極致的謹嚴家

彼は何處へ出ても最も愼み深い紳士であつた、されば某上流家庭のお茶に招待された時の態度こそは、およそ謹嚴にして高雅、我々の思ひ及ばざるところであつた。マダムが愛想よく勸める。

「お菓子をお一ついかゞでございます？」

「は、有難うございます、もう頂きました」

顏筋一つ動かさず、いとも鄭重に彼は答へた。しばらくして、またマダムが

「お茶はいかゞでございます？」

「はア有難うございます、もう頂きました」

來會者の總ては陽氣にはしやいでゐるのに、彼一人はちつとも面白さうな顏をしない、マダム心配になつて、

「どうも御機嫌がおよろしくないやうですが、どうかなさいましたか？」

彼氏憮然として、「はア有難うございました、もう先程笑ひました」

▲片足だけを失つた話

彼は片足こそ木製の義足であるけれど、何萬といふ親讓りの財產を持つた幸福者である、話は如何にして彼が片足義足とならねばならなかつたかといふ物語。

彼は青年時代水泳選手であつた、そして南洋見物に出かけた折、人のとめるのも聞かず南洋の海に飛びこんで泳ぎ廻つた、その揚句一名槍魚と呼ばれる嘴の尖つた魚に股を突かれた、それは、非常な猛毒を持つた魚なので、それに突かれた者は如何なる名醫の手を煩はしても死ぬよりほかはない事に決められてゐた、然るにあく迄幸運者の彼は槍魚に突かれて間もなく息も絕え絕えに陸地に泳ぎつかうとした時、突如どこからか現れた鱶に毒の廻つた片足をがぶりとばかり喰ひちぎられた。

かくして全身に毒の廻るのを未然に防がれた彼は片足を失つただけで命拾ひをしたといふのである。ああ幸運なる彼よ。

▲女はおしやべり

きん子夫人の話―

女が三人寄れば姦しいつて申しますが本統にさうですわ、先日も電車の中で三人連れの女の人の隣りに乘り合はせたんですが、さアその中の一人のしやべることゝ喋ること、でも品川でその人は下車して行つたのでいゝ鹽梅にこれで靜かになるかと思つてゐると今度は後に殘つた二人の一人が喋り始めました、まア何であの人つたらお喋りなんでせう、呆れちまふわ、―そんな發端からその人のお喋りは電車が大森へくる迄息をつぐ間もないくらゐでした、大森でその人が降りて行つた時、最後に殘つた一人が突然私の方へ向いて隨分お喋りがしかつたでせう、本統にあの人達ときたら……といつた調子で今度はその人が私を捉まへて果しもないお喋りを始めたではありませんか……

オリムピツク寫眞

【ロスアンゼルス發】（上）城戶少佐と共に鳥羽丸にて先發した我がオリムピック馬術選手の愛馬は五月十一日ロスアンゼルス港に入港と同時に上陸（下）オリムピック大會日本代表委員金澤氏（右）は鳥羽丸にて先發の城戶少佐をロスアンゼルス港に出迎へた

東洋第一

お中元の特別奉仕

美しい文匣式花王石鹸容器一個つき
他に類のない雛段式一打函

體裁のよいハンカチーフ一枚つき
花王獨特の美しい半打函

この外にお手頃の三個函も取揃へてあります
いづれも美麗なのし紙をお添へ致します

一打函につく花王石鹸容器

雛段式の美麗な一打函

戴いたからとて無駄に使ふことの出來ないのは石鹸です

石鹸ならむだべりのしない品質本位の花王石鹸に限ります

半打函につくハンカチーフ

純粹度九九・四%

東京・花王石鹸本舗長瀬商會・大阪

9367

國難日本刀（17）

高桑義生作
京極佳夕畫

右と左（五）

「おぢいちゃん、大變て——どんな事になるんだい？」

無邪氣な聲である。

「はゝゝゝ……おぢいちゃんにもわからないのさ」

「戰があるんだつて……」

「さうだ。あるかも知れない。それも大變だ」

「地震は？おぢいちゃん」

「地震か、あるかも知れない」

「みんなはうき星のせいなのかい？」

「なかしいなあ。星にしつぽがあるんだもの」

「みんなしつぽが生えたら綺麗だなあ」

「はゝゝゝ……お前たちは氣樂でいゝ」

「ばかな事をいふんぢやないよ、この子は」

母親らしいのがたしなめた。

「おらあもさう思ふさ、この頃はなにも手につかないや」

と若い男がいふ。

「汗水たらして、まつ黒になつて働いて、明日にもどうなるのかわからねえのぢや、まじめに稼ぐもあほれえなあ、爺さん」

老人はこたへない。

「もう稼ぐのはやめにして、明日から酒でもくらつて遊ぶべいか」

「さうするだ。思ひ返しちやあ見るけれど、考へるとこけッたらしくて……」

「面白をかしく暗さにやあ損だ」

「生きてる內が花ぢやものなあ」

若い、健康さうな女が、しみじみと和した。

かれらはさうして、目に見えない世の中の變轉を呪つた、彗星といふ異常な出現に恐怖した。それは、何處にも聞かれる嘆きである。今日さいふ享樂を思ふ、世紀末的なさけびである。

この時、かれらにまじつてゐた若い武士は、老人にむかつて、おだやかに呼びかけた。

「もしもし、お話のなかだが……」

たれもいつしよにはうき星を見てゐる武士を氣にもとめなかつた。

「はい、はい、何でございます」

老人も丁寧にこたへた。

[illegible]が、あのはうき星について、少しお話しをしたいと思ふのです」

はつきりと澄んだ、ひゞきのある聲だつた。

みんな話しをやめて、この武士を見た。月の光のせゐでもあらうか、蒼白い、くつきりとたかい鼻や、おだやかな口元、切長な眼は智的なひらめきに澄んで「りりしい」といふ美貌である。すらりとした背恰好は、五尺五六寸もあらう、あまりに粗野な服裝だが、當世風にさせたならば、だれの目をもひく美丈夫である。

「はい」

老人も相手の態度にふさはしくいんぎんに目禮した。

「たゞ今、あなた方のお話を承はると、なにか大變な不幸が來るやうにいはれるが——あのはうき星がその前兆であるやうに仰有るが——それはこの頃世間一般にいはれる事です。いや、御老人のいふ通り、昔から凶兆といつて、天變地異、あるひは戰、病氣、飢饉などの前兆といはれて居る。これは日本ばかりではなくて、人智のすゝんでゐる西洋諸國でも、はうき星は、われわれの住んでゐる地球と衝突して、われわれの世界を破壞するものだといはれて居る。がそれもこれも、まつたくいはれのない迷信で、けつして左樣な事があるべきものではないのです」

諄々として說くかれには、如何なる事にも憐憫をもつ人の好さがあつた。

また、たれをも傾聽させずにはおかない眞面目さがあつた。

「はうき星、つまり彗星といふものですが、あれは月や、あの無數の星や、また太陽や——われわれの住んでゐるこの地球もさうですが——廣大な宇宙にあるところの天體といふものでして……」

路傍の武士は、無智無學なかれらにむかつて、かんたんな天文學を說くのである。さうしてはうき星がなんら恐るべきものでないことを力說したのである。

子供が、かれの寶刀の鐺をひつぱつた。

佳夕畫

綾助仙廣來連 歡迎淨瑠璃會

大阪文樂素義の竹本綾助と豐澤仙廣が突然來連したので大連素義會有志の發起で今二十九日午後七時から淡月樓上廣間で歡迎淨瑠璃會を催すが番組左の如し

一沼津里の段、玉糸、糸旭勝、一手習小屋の段、湖之助、糸旭勝、一、三勝半七酒屋の段、竹本綾助、糸豐澤仙廣

上海特急

デイトリツヒ主演
常盤座上演

この一篇も亦、スタンバークとデイトリツヒとのコムビになる作品として「間諜X廿七」に次いで評判された映畫であり、そしてまたこの一篇にかけられた唯一の非難はストオリイにあつた、卽ち北平から上海に行く急行列車の中でこの作品に盛られたやうな事件が起るといふことにあるらしいが、これは內地批評家の認識不足で映畫の中のサムが賭をするやうに何事が起るか知れたものでない、たゞ北平から上海へ直行する特急があるのは原作者の手落ちである、內地でされた批評は全く當を得たものでない、そんな潛入觀念は一切捨て見るべき作品である、寧ろスタンバークが米國でよくこゝまで支那事情を知つてこの一篇を製作したと推賞すべきであらう

例へば支那兵の持つ銃にしろよく氣がついてゐるし、娘の感じなどもよく出てゐて、支那の扱ひ方は日本の映畫監督にくらべてダンチである、たゞ土匪が列車を襲擊する場面が物足らないが、これは臺本を見ると日本で相當カットされたやうである

そしてこの作品が上海事件にも影響されて內地では素晴らしく當つたといはれてゐるが、この一篇は批評家の誤つた非難を蹴飛ばしファンの興味をそゝり立てるのに充分なスタンバークとデイトリツヒの作品である【寫眞はデイトリツヒとブルック】

囁

何事も實際に行かなくては承知が出來なくなつた常盤座▲今度は京都スタヂオ街から美少女五名を集めてマネキン・サービス・ガール團をつくり▲目下京都でマネキン・サービスの敎育中で近く常盤座にお目見得することになつた▲ゆふべ常盤座で「インスピレーション」を試寫中に途中からやつて來た小泉のタケチヤンが▲突然「見さん、この寫眞は歐洲音樂的なア車がどれもアメリカ物でない」さの卓見振り、[illegible]

滿洲日報

滿洲國を自治領とし日本の權益承認
南京政府の紛爭解決案

【上海二十八日發】支那側情報によれば南京政府はリツトン卿の要求により滿洲問題解決案として滿洲を支那の自治的領土とする案を過般の廬山會議において議定し、リツトン卿の北平出發前夜之をリツトン卿に手交した、而して滿洲國を自治領とする具體方法は左の如くである

一、滿洲を支那國に所屬する自治領とす
二、滿洲自治領のハイ、コムミシヨナーは支那政府之を任命す
三、支那は日本の滿洲において有する條約上の各種權益（二十一ケ條を含む）を承認す
四、滿洲自治領内には支那軍隊を一兵も駐屯せしめず大なる組織の警察隊を以て治安維持の爲さしむ

日本にも解決案要求
調査委員案作成の參考に

【上海二十八日發】リツトン卿は東京到着後日本に對しても支那側に對すると同樣、滿洲問題解決案の提出を日本側に要求して調査團としての解決案作成の重要なる參考とする筈で、若し日本側が回答せぬ際はリツトン卿は自身で解決案を別に起草するが、其際は支那側の案が基礎となるものといはれてゐる、而して別項の支那案は昨年九月十八日事變發生以來始めて立案された具體案として内外各方面で注目してゐる

滿洲國承認反對提議
聯盟小國代表がイ議長に

【ローザンヌ二十八日發】臨時聯盟總會を三十日に控へ本日チエコ外相ベンネツシユ、スペイン代表マダリアガ大使ノールウエー代表ランゲ氏等は十九ケ國委員長ベルギー代表イーマンス氏を訪問し調査委員會最終報告書の六ケ月間審議延期決議草案について協議したが、右小國代表等は日本の滿洲國承認に反對し滿洲國の現狀維持尊重を主張する條項を提議した

八ケ國組
秘密會合
軍縮問題協議

【ジユネーヴ廿八日發】スペイン軍縮代表マダリアガ氏をリーダーとする八ケ國組は廿八日密かにマダリアガ氏の宿舍において會合しフーヴア軍縮案につき三時間に亘り協議した結果、大體これを承認したが同案中の「國内秩序維持のための警察力」に必要な軍隊とは何程の程度の兵力を意味するや、又は兵員中には訓練を受けた豫備兵を含むや否やに關しアメリカ代表ウイルソン氏に説明を求むることゝなつた

小國側の
策動抑制
イ議長の努力

【ジユネーヴ二十八日發】スペイン代表マダリアガ、チエツコスロヴアキア代表ベネシユ氏及びノルウエー代表等は三十日から開かるゝ臨時總會へ滿洲問題に關する決議案を提出せんと企てゝゐるが議長イーマンス氏はリツトン報告書を接受するまでは事態を紛糾せしむる如き行動を差控へる方針の下に極力小國側の策動を抑へんと努力し居り、二十八日も前記三氏

天津事變の再調査
片手落に日本側は不滿

【天津二十九日發】聯盟調査團一行は昨夜九時半天津通過赴日の途に上つたが、これより先リツトン卿は秘書ハーモース氏を當地に派遣、天津事變の再調査を行ひ總領事、市政府、鐵路管理局等を訪ひ同事變による直接損害、貿易商業上の損害等につき支那側とのみ折衝せしめて引揚げたが、この片手落の調査に日本側は大いに不滿を感じてゐる

聯盟臨時總會
三十日に延期

【ジユネーヴ二十八日發】廿九日開會豫定の聯盟臨時總會はイーマンス議長がローザンヌ會議から手を引かれぬため三十日に延期されたが、廿九日午後は十九國委員會を開きイーマンス議長の總會における ステートメントの起草を爲す筈

と會見右決議案の提出を見合せるやう說得に努めたが更に二十九日の秘密十九國委員會においても同問題を審議する事になるであらうなほリツトン報告は十月前に到着する見込である

調査團一行
昨夕北平出發

【北平二十八日發】聯盟調査團一行リツトン卿以下各委員、隨員十七名、日本側吉田大使以下十七名計三十四名は豫定通り本日午後六時支那側及び各國側多數の見送りを受け渡日の途に就いた

地方部長級更迭
約百名あす發令か

【東京二十九日發】地方長官の異動に伴ふ地方部長級の更迭は出來るだけ速かに斷行すべく廿八日夜内務次官々舍に潮次官、松本警保局長、安井地方局長等參集詮衡協議を遂げ、潮次官は午後十時山本内相を訪ひ大體の人選を報告協議するところあつたが異動範圍が相當廣範圍に亘るのと政友會始め各方面から種々の注文提出されゐる等の關係から發令は三十日となるやも知れぬ狀態である、異動範圍は内務、警察、學務各部長、警視廳部長及び内務省課長級に亘り政友内閣當時の復活組は二三名を殘し大部分整理され、民政系復活五六名新進拔擢に重きを置いて異動總數百名に上る見込みである

地方官更迭に
政友の不滿

【東京二十八日發】政友會の地方官更迭を審議する委員會は二十八日午後五時鐵相官邸に開會、鳩山三土兩相より經過聽取したが今回の更迭には政友會に非常な不滿あるも既に閣議の決定を見たるもので今回は已むを得ず鳩山、三土兩相の態度を承認する模樣である

政友中堅組
大和會組織
黨規振肅に努力

【東京二十九日發】政友會の黨規振肅を目的とする中堅組の第一回會合は二十八日午後六時から木挽町川口屋に行はれた、中島知久平、中島守利、田子一民、岡田忠彦、加藤久米四郎、植原悦二郎の各發起人を始めとし三十餘名出席、中島守利氏より
今日の非常時に際し我々黨員は絶えずこの會合を續け黨の指導精神を確立して總裁並に幹部を鞭撻して行く必要あり
との挨拶あつて、協議の結果、政府に相對して隱忍自重し我黨の政策を實行せしむる事に努力し若し齋藤内閣が我黨の政策を無視する態度に出づるにおいては之と衝突をも敢て辭せず、來る臨時議會には寧ろ解散覺悟で勇往邁進すべきであるといふに意見一致し會名を大和會と名づけ今後時々會合し眞劍に對議會策を考究する事とし同十時散會した

官吏身分保障

【東京廿八日發】政府は廿八日の閣議で從來の黨弊による官紀を肅正すると共に官吏の恒久性を確保し官吏をして安んじて職責に專念せしむるため身分保障制度を確立するに決定近く法制局で具體案を作成する事となつた

法律二件公布

【東京二十九日發】臨時議會の協贊を經たる左の法律二件は來る七月一日より施行する旨廿九日勅令を以て公布された
一、兌換銀行券條例中改正法律
一、日本銀行參與會法

竹中滿鐵理事

【東京特電二十八日發】滿鐵傍系會社に關し政府諸般の事業報告中の竹中理事は來る三日東京發赴任の途に着き途中大阪に於て社用を果し海路大連に向ふはず

重兵營舍へ

關東軍の憲兵營舍へ移轉に關し兵大隊が獨立に改組され現在の舍では狹隘を感ずるので近く步兵聯隊兵營に移轉すると

青天白日旗を揭げて
外、支人海關員が示威
今朝來突如積極的行動

大連海關問題發生以來、消極的な傍觀態度を持してゐた外人および支那關員は二十九日朝來急に硬化し積極的に動き出し來り形勢さらに重大化せんとする兆がある

南京政府は大連海關問題發生以來いづれは事件紛糾するものと察し

總稅務司

を通じ秘に聯一の場合の全權を委任したもの、ごとく廿五日邦人海關員輕籍のその日にポーター氏は事實上の海關事務取扱ひのごとく行動し支那人關員は全部その指揮下に屬した、しかして總稅務司よりの指令は漏洩を恐れてことごとく暗號で某所を通じて行つてゐるもの、ごとく二十八日午前同氏は支那人關員の主なるもの數名を伴ふて某所で會合した事實がある、かくて同日午後四時この結果を齎して

幹部級の

支那人關員十數名が海關階上支那人俱樂部に參集して對策を協議した、その結果廿九日は支那人關員（南京政府より任命された上級者五十九名、現地採用者七十二名）は全部海關に集合し從つて事件以來準頭の徵稅處において事實上滿洲海關員として働いてゐた下級支那人關員は一人も姿を見せず、形勢急變して來たことを思はしめた、ために準頭の現場においては事務に相當支障を來すにいたつたので滿洲國徵稅處では彼等が參加するや、殘留するや明かにするために滿洲國に籍を有する

下級關員

四十五名に對し參集を求め直接の監督者たる前外勤部長矢田劣一氏より說明せんとせるところ、彼等はポーター氏の命令なければ一歩も外に出ることが出來ないことになつてゐるからとて俱樂部より出て來ない、最後に種々折衝を重ねた結果正午會見矢田氏より

決して强制するのではなく、滿洲國に來るも留るも全く諸君の隨意だが、事務の都合があるから速に何分の意思表示をされたい

と述べた、これに對しポーター氏が一同を代表して「明日午前九時までに滿洲國海關に出勤せぬ者は滿洲國海關へ入らぬ者と見做して呉れ」と答へて別れた、なほポーター氏はさらに支那人關員に對し

青天白日

旗が何時の間にか何人の仕業とも知れずスルくと支關高樓上に揭げられ、南京政府海關が依然として儼存してゐることを無言の裡に示威した、これに憤慨した滿洲國海關員の手によりて再び引卸されたが、南京よりは

決して日本政府が危害を加へしむることなきをもつて安んじて舊海關を死守せよ

との秘密指令が來てゐるに非ずやと推せられる節あり、形勢重視されてゐる

徵收處の聽差（支那人ボーイ）
今朝遂に罷業
事務に大支障を來す

舊支那海關員をシヤツト、アウトして日本人海關員のみで萬全の努力を續けつゝあつた滿洲國財政部關稅徵收處は接收以來三日目に至つたが、廿九日早朝思ひがけない支障にぶつかつた、即ち支那側海關員一同と

別行動を

とり接收以來徵收處にあつて働いてゐた聽差（ボーイ）が一齊にストライキを起した事でこれによつてさらぬだに手不足で事務の活潑を缺ぎ徵稅事務の澁滯を見るにいたつたが、中村前副稅務司の語るところによると聽差の數は三十餘名、そのうちこの徵收處にあつて事務に從事してゐたものは十餘名、主として書類の傳達、電話の取次ぎ等の雜用に當つてゐたもので萬事につけ不便であると、しかし日本人關員は

更に緊張

の度を加へ殆ど總動員で事務の萬全を圖つてゐる尙午前十一時半頃、愈々安協の道を失つた支那海關員代表五名は舊海關事務の總くゝりの爲め同處に出頭、諸々として書類を引繼いで行つた、一方右聽差の罷業は支那海關員の入智慧によるものと見られてゐる

長春丸揚荷
青島で無事了る
上海へはけふ入港

廿七日大連海關が新たに滿洲國財政部關稅徵收處とその看板を塗り替へたが、この日新しき關稅徵收處の手續をとつて大連を出帆上海に向つた長春丸に對する青島上海における支那側海關の態度は今後新しき徵收處に對しこれを如何に見做すかを具體的に表示するものとして海事關係者の等しくその取扱ひ方を注意してゐるところであるが二十九日午前九時頃大汽本社への入報によると「大連海關接收に關する當地海關の態度は不明」であり同船は廿九日午後二時頃上海入港豫定であるからその上でなくては結果は不明であると、一方滿鐵海運係の調査によると廿七日大連出港長春丸は青島にて無事揚荷を了した

うすりい丸

三十日午前七時大連港外着豫定

【寫眞】（上）は滿洲國關稅徵收處の前大連海關矢田外勤部長がポーター氏を介し支那人下級關員に進退回答を促す處（下）は徵收處前に詰めかけてゐる荷主連

人事

▲京都市會議員滿蒙視察團一行十四名は二十九日午前八時大連驛着列車にて來連
▲田中祐四郞氏（民政黨代議士）同
▲鈴木吉之助氏（政友會代議士）同
▲牧野豐助氏（住友顧問）同上
▲津久井誠一郞氏（三井支店長）同上歸連
▲小須田常三郞氏（滿鐵商工課長）奉天における見本市視察のため出張中のところ廿九日朝歸連

角蛇

滿洲國側と支那側と二ツの大連海關が現れる奇現象。
◇
天に二日は天文學者でも迷ふだらう、況んや通關者に於てをや。
◇
尤も一方の相手支那では國民政府が二ツ出來ても一向怪しまなかつたが……。
◇
官吏の身分保證されて官僚の牙城固し。
◇
折角の名案も事實問題に直面して迷案たらずんば幸ひ。
◇
お江戶名物「ヨシワラ」が銘酒屋街になる、これも時勢。
◇
今更「憐れえ」と泣く江戶ッ子さへありつかなしや。

滿蒙の戰慄（29）
直木三十五作
淺枝次朗畫

踏出す者（六ノ二）

「政黨も、足下へ、火がついてきたからのう」
「さうだ」
一人は、頷いて
「たゞ、それだけの話だ、何しろ、農民の負債が、今年になつて、急に五十億圓になつたのぢやない。明治以來、だんくに、增加してきてゐるんだ。それを、例年知らん顏をしておいて、暗殺が起つたり、政黨否認の風潮が起つたりしたので、びつくりして、平價切下げなんだ、無智、無能な、さらけ出してやがるんだ」
「例年、農民救濟はやつてるぞ」
「何を？」
「何をつて、低利資金の融通さ」
二人は、聲を合せて笑つた。
「あの低利資金融通に、運動をしにくる農民なるものが、食はせ者で、低利資金の融通を受けられるやうな資財を、農民がもつてゐるたんだから──」
「考へもせんよ、地主階級の奴等がくるんで、次の選擧に都合のいゝやう、そいつらに、融通したのだ。本當に、困つてる百姓は、上京する所か──」
「さうだ」
「今のまゝで、移つて行くなら、暴動が起るかもしれんよ」
「全くだ。俺は、それを考へると滿洲へ行きたくないんだ」
二人は、暫く默つてゐた。
「病根は、遙か、明治維新の時にあるのだから、その淵源だるや、實に遠いよ──明治維新の時に、政府は、銀行をつくつて、田畑で金の融通の利くといふ事を、百姓に、敎へたんだかられ。それまで百姓は、田畑が、金に化けやうなた。
どゝは、考へても、ならなかつたのだ」
「さうかれえ」
「それさ、俺は、考へるが、もう一つの、根本原因は、都會生活がますくく貨幣本位の生活になると貨幣の收入の少い農村が、この生活に追從して行かなくてはならんといふ事になつたのが、その第二の原因さ。都會ぢや、月五十圓の現金を收入とするのに、大して困らないが、農村は、それが、殆ど農の最大額だ。そして、こゝくく、都會流に、現金支出をしなくてはならんやうに、生活が代つてきた所に、農村困窮の一因があるんだよ」
「成る程ね──さうだらうな。農業その物が、近代產業ぢやないんだかられ」
「さうさ、原始的產業さ、だから世界中の農業が困るんだ」
「救濟策無しだね」
「根本的に考察せんと、三億五千萬圓の土木事業だなど──その金が無くなれば、又元の通りだ。燒石に水、その日ぐらし──そんな事しか、考へられないんだよ。農村が、かく疲弊してしまつて、軍隊が、何うなるか」
「それだよ──まだくく日本は、軍隊が重要だからね」
「それが判つてくれる奴が、軍隊中に、幾人あるか、滿洲も、重要だが、内から崩れては、何んにもならんからのう」
「憂鬱になるよ」
「全くね」
二人が、話してゐると、一人の將校が、きて
「何だ」
と、叫びつゝ、どかりと、坐つ

北嗣畫

富豪の子供をさらふギヤングが白晝横行
ハルビン市中を神出鬼沒する
自動車を驅る『黑龍』

【ハルビン特電二十九日發】昨今ハルビン市中には黑龍と稱するギヤングが横行し白晝公然と自動車を乘り着けて座り込んだり、富豪や子供を拉致したり、市民を極度に恐怖させてゐるが警察當局も神出鬼沒とも云ふべき彼等の早業には手を燒いてゐる、こゝ二週間内に彼等に拉致されたる富豪の子供は■名もあるので當局もやつきになつてゐた折から當地ロシア議會議員カバルキンの身邊に數日前から怪しき影が付き纒ふので護衛をつけて警戒中二十八日午後二時四十分頃ハルビン元ホルワツト官舍附近に於て數名の匪賊はカバルキンを拉致せんとして自動車を停めたが護衛及カバルキン自身がブロウニングを以て應戰し暫く交戰したが賊は諦めて逃走した、そのやり口から見て黑龍の一味と思はれる

東部線の兵匪狀況

東支東部線附近の兵匪の狀況は右の通りである
一、東京城附近千名、同城内に四百、同東方四十キロに約五百
一、劉萬魁の率ゐる四百寧安の附近にあり
一、李杜その部隊は密山にあり
また馬占山軍の狀況は左の如くである
三道鎭、興化鎭附近にありし馬占山軍は一部を北方に主力を以て通肯滿左岸に移動し馬占山は手兵を率ひて海倫南方望奎海豐鎭を連れる以北の線を彷徨することゝ確實にして爾後馬占山は呼海線を横斷し綏機方面に脫出を圖るものらしい【奉天電話】

劉萬魁と策應して行動しつゝありその裝備は第一旅は概ね整備してゐるもその他は裝備不良彈丸缺乏して活動の力なし【奉天電話】

ハルビンを中心に機を狙ふ各地兵匪

ハルビン東南方四十支里の大房身には張作相部下より反吉林軍となつた馮占海の率ゆる一萬餘が蟠居し又ハルビンを中心とする阿城乃正、双城堡には大刀會匪約一萬あり互に連絡をとつて反吉林軍と氣脈を通じ去る十九日ハルビンを一齊總攻擊する豫定と傳へられてゐたが準備整はずこれを中止し目下總攻擊の時期を狙つてゐる模樣である、なほ同地方の農民は兵變と匪賊のため耕作することを得ず何れも賊となるか長春以南に避難するかの二途あるのみで旣に一部は長春奉天に避難して來た【長春電話】

手兵を率ゐて馬占山動く
黑軍二隊に分れ追擊

ハルビンよりの情報によれば馬占山は手兵約一千名を率ゐ二十四日三道溝南方に於て通肯河を渡河し我守備隊に擊退され二十六日綏化東北方慶城方面に退去せるもの如く吳松林、鄧文の率ゆる約一千名がこれに隨行した、なほ樸旅よりの情報によれば馬占山は木蘭に移動すべき意圖を有してゐる、右に對し黑龍省軍は第二支隊を以て通肯河右岸墅を經て克東方面へ第一支隊望奎方面に追擊中である【奉天電話】

反吉軍の現在勢力

北滿に於ける反吉林軍の勢力左の如し
一、新編第一旅團　馮占海騎兵約二團山砲、迫擊砲各一營及び宣傳隊
一、騎兵第一旅　宮長海の指揮する騎兵約千八百、大刀會六百宣傳隊、迫擊砲六、輕機十
一、騎兵第二旅　姚殿臣騎兵一千補充營
一、騎兵第三旅　楊文祥歩騎兵四營、大刀會匪一隊、迫擊砲二、機關銃二
一、第四旅　趙某騎兵百、大刀會百、重機二、輕機五、迫擊砲二
一、第六旅　指揮者不明歩騎各一團
その他李杜、丁超、邢占淸の各旅あり而して反吉林軍は數度の阿城及び哈市附近の攻擊に失敗しそのため方針を變更し南下して王德林

大喜びの少女使節　八田副總裁の招待　狸穴の滿鐵社宅て

敦化でも蠢動

頭目張振山、于法師及び一順の率ゐる賊團は敦化より四十支里の二道河子、同四十五支里の二道河子及び敦化より五十支里の三道河子を根據とし大哈爾樹河の各地でバンを造りつゝあるがこれが完了次第襲擊樹子、哈爾巴嶺の二ケ所の總攻擊する豫定であると【長春電話】

愛兒のため…母親が水泳練習
神明のプールでバタ〳〵

神明高女のプールに二、三日前から一女性が熱心に女學生間に交つてバタ〳〵から稽古してゐる、この女性は滿洲國海關に勤務する岡田文雄氏の夫人たか子さんである動機は
國が京都で今まで一度も海に浸つた事がありませんが夏になりますと本人や子供二人と星ケ浦にまゐりますが、主人はゴルフに參りますので子供の相手が出來ません、子供は海が大好きで時々舟遊びないたしますが少し沖などに出ますと、私が水に全然自信がないものですからとても恐くてなりません、ですからいつか水泳を習つて自信つけておきたいと思つてましたらこの四月聯合艦隊が入港しました折に岸壁でランチが顚覆し、あの現場を目擊された私のお友達にそのお話を伺ひましてほんとに恐くなつて、どうかして今年の夏は水泳を習つて水に自信を得ておきたいと思ひましたのです」と語り今後の片岡師範について熱心に練習してゐるが、水に始めて入つて今日で三日目だといふのに十米突位泳げるやうになつてゐるさん【寫眞はプールで練習中のたか子さん】

常に心配し感傷的となつて居たので發作的自殺をなしたものゝ樣で夫にあてた遺書には「子供といつしよに死んで行きますいつまでも子供といつしよに暮して行きますから安心して下さい」と子供の事を書き殘して居る

會議員の一行十四名は同市選出代議士田中祐四郎、鈴木吉之助兩氏も加はり二十九日午前八時大連驛着列車で來連したが一行は直に市內各所を見學當地市制並に産業狀況に就き各方面の意見を聽取したが遼東ホテルに滯泊二日出帆うすりい丸にて歸國の豫定である

吉原の轉身
銘酒屋へ
不況に喘ぐ

【東京二十九日發】大江戸唯一の傳統を誇る吉原も打續く不況と遊興機關の進出と一方廢娼續出の現狀に鑑み何等かの轉身を圖らんとし公娼廢止運動の闘士星島二郎氏に相談して具體案を考究中なる事が昨日神宮外苑日本青年會館に開かれた全國廢娼同志大會で星島代議士から報告され非常なる衝動を各方面に與へた、卽ち轉身の方法は形式的に公娼を廢止し手段的銘酒屋にならうといふに在る、吉原の廢娼運動に要する費用だけでも年々數萬圓に上るといふ事である

信陽武昌間の列車不通

【河南二十八日發】全部の共産軍猛運動開始により平漢線信陽武昌間の列車不通となつたので當地鐵

問題から會費を滯納するといふが如きことは絕對出來ぬことゝなつた
かくて一騷ぎ起した脫退問題も漸く元通り納まり午後七時三十分散會した

あみだ會に總裁が出席

あみだ會では内田滿鐵總裁の歸連を機に廿九日午後零時半から大連ヤマトホテルで内田總裁を加へ久し振りにあみだ會を開いた

道當局は本日より毎日午後八時三十五分北平發信陽直通列車を運轉する旨公布した

故大仁田氏鐵道部葬
瓦房店で執行

去る廿五日呼海線で名譽の殉職を遂げた瓦房店保線區線路工夫鐵道在勤線路方故大仁田武義氏の葬儀は滿鐵々道部葬として卅日午後二時から瓦房店で行はれるが滿鐵本社からは總裁代理村上鐵道部長以下酒井鐵道部庶務課長、山領工務課長、猪子大連鐵道事務所長等が葬儀に參列の筈

瀋海線木橋燒却さる
徒歩で連絡中

廿九日午前三時ころ匪賊の襲擊を受けたゝめ瀋海蒼石、南口前間九四杆の木橋も破壞燒却され、六列車から列車の運轉は不通となつたその後應急手當の結果廿九日第一列車から徒歩連絡を開始したが廿九日中に復舊の筈

京都市議來連

滿蒙各地を視察中であつた京都市

營口のコレラ患者また眞性一名
入院警戒中の者十名

コレラ樣症狀で營口海口檢疫醫院に收容されてゐた營口舊市街居住滿洲國人白樂魁（四七）高齋氏（二九）の兩名は細菌學的檢査の結果廿八日午後十時眞性と決定したので營口の眞性コレラ患者は合計四名となつた、なほ同醫院にはコレラ樣症狀で入院中のもの十名あり、そのうち一名は廿九日朝死亡したので目下嚴重檢査中であるが現在までには眞性か否か判明しない、なほ高氏は廿八日眞性コレラと決定した高長順の母である

防疫が行屆き心配が少い
千種滿鐵衞生課長談

これまでのやうに海關、支那側、日本側が協調的な態度方針をとることが出來なかつたならば今度ももつと多くあちらこちらに發生したのだが幸ひ今年は日滿および海關とが全く協力して防疫に努めてゐるからさうした心配は非常に少ないのだ、今後共協調を保つて怪しいものはドシ〳〵病院に收容する管でこれは不幸中の幸とも言へるだらう

な實施する方針に決定し目下その準備中であるが、各自に於ても充分豫防注射等最善の方法を講ずる樣望んでゐる

愈よ營口線檢便開始
海務局の方針

上海、天津方面のコレラは遂に營口に波及し續々新患者の發生を見漸く危險は近くに迫りつゝあるが二十八日またまた四名の新患者發生の報に當地海務局は極度に緊張し[illegible]

全滿大會豫選會
明日申込締切

本社後援の下に七月上旬（時日は主將會議に於て決定）擧行する全滿軟式野球大會豫選會は左記規定の下に三十日を以て申込を締切るが參加希望者は至急申込まれたし
▲出場資格　各會社商店銀行内にて編成したるものは何れのチームにても差支へなきも同一人で二チームに出場は許さず但し滿鐵は各課所を以て編成す
▲申込方法　選手氏名並に[illegible]
記し代表者名を以て申込みのこと但し必ず參加料二圓を添へること
▲締切期日　三十日限り
▲申込場所　連鎖街時育堂運動具店內日本軟式野球協會滿洲支部宛申込みのこと
▲使用規則　協會規定ルールによる
▲使用球　協會公認の青年用ボール
▲服裝　運動シヤツゴム靴或は足袋着用のこと
本豫選會優勝チームは八月上旬奉天に於て開催する全滿洲豫選會に派遣する筈である

總會を開き紛糾解決
カフエー組合

内訌を生じてゐた大連カフエーバー組合は過般石井大連署長の調停により圓滿握手し二十七日午後四時から緊急總會を開き役員選擧を行つた結果
組合長柄巻軒汐田庄助、副組合長リリー野添重治、黑猫上野光會材みかど川瀨信吾の諸氏が推され、評議員十三名も選出された、しかして過般飲食店聯合會脫退の聲明は撤去し從來通り聯合會に加入提携して行くことゝなつたが會費徵收の件は今後組合長の完納の證明を大連署に持參せぬ限り女給の認可その他保安事務を特殊に於て受理せぬといふ强制的制度が設けられたので從來の如[illegible]

徒弟教育が必要
道家專修大學教授の視察談

專修大學常務理事で同校教授たる道家齊一郎氏は同校教務課長山田政太郎氏と同伴して朝鮮經由來滿し奉天、長春、ハルビン等を視察の後二十八日午後八時半着連大連ヤマトホテルに投宿したが氏は二十九日午前本社を來訪して語る
滿洲國が出現したので滿洲國教育界の現狀並に今後の教育事情についても是非一度實地に視察する必要を痛感し東方文化事業の關係もあつて今回來滿したのですが長春では新國家の教育方針其他につき實際方面において努力してゐられる文教司員上村哲彌氏にもお目にかゝつて種々御意見を伺つたが流石に多年滿洲において研究されて居るだけに肯綮に當るものが多く非常に參考になつた、滿洲國の教育方針として私の感じた處も矢張り高等教育のみに重きを措かず成るべく實際生活に必要なる智識を涵養せしむる事、卽ち實業教育、從來國民政府の方針による排日教育については教科書の改編は勿論凡ゆる方面において深甚の注意を拂ひ根本的にこれを打破し努めて日滿國民の親善に導くやうにせねばならぬ事勿論である、滿洲國青年の日本留學に便宜を圖る事も決して惡いとはいはぬがその學生については餘程當人の思想なり環境なりを調査し、而して選定宜しきを得ぬと却て惡結果を招く惧れが十分にあると思ふ、私達は一兩日當地に滯在し青島、上海等を經て歸國する豫定である【寫眞は道家氏】

●ヨネ殿へ……解決出來る、安心せよ直ぐ居所知らせ　嘉祐

十五年振で親子對面
大檢の六〇

十五年前養女にやつた娘が行方不明となり、年老た兩親が後生の思ひ出に一度娘に會ひたいと八方心當りを搜した結果、大連で藝妓稼業をしてゐることが判明大連署保安係へ親娘の對面を願つて來た、[illegible]
磐城町六六番地藝妓置屋富屋こと松岡センの養女六〇事松岡富美子（二三）と判り、近く警察の肝入りで十五年振りに親娘の對面をさせようとしてゐる
藝妓六〇は長崎縣北松浦郡津吉村石松豐次郎の長女に生れ彼女が八才の時、家庭の都合で當時廣島市居住の松岡センの養女に貰はれた、其後松岡は大連へ渡り置屋を開業、養女の富美子も藝妓に仕込まれたものであるが實家には全く音信不通となつてゐたものである

淡路クラブ優勝

日本軟式野球協會滿洲支部主催大連新聞後援の早起野球大會優勝戰淡路俱樂部對南山俱樂部戰は廿九日午前六時より大連一中球場に於て大森（球審）小仲（壘審）兩氏審判南山俱樂部先攻で開始したが大接戰の末淡路俱樂部辛勝し優勝旗を獲得した閉戰七時二十分

南	0	0	0	0	0	0	0	0
淡	0	0	0	2	0	0	A	2A

（南山）　田原（遊）永馬（一）小神（左）氣畑（捕）友木（三）野（二）
（淡路）　増田（三）小磯（左）小黑（一）杉田（投）栄井（中）江淵（捕）南田（遊）快金（右）澤野（二）間（中）

星ケ浦へバス

滿電バスでは星ケ浦行き海水浴者のため來る十日より八月卅一日まで毎日午前八時より午後六時まで常盤橋より星ケ浦西門間の臨時バスを運轉することゝなり廿九日沙河口署へ願出た

ガス自殺未遂

二十八日午後五時三十分頃市內近江町百五十三番地の滿鐵鐵道部經理課勤務佐藤眞美氏方から强烈な瓦斯の臭氣が洩れるので隣家の者が怪しみ駈けつけて見ると表戶は堅く閉されてあつたので窓を破壞して室內に入つて見ると佐藤氏の妻大村淸子（二三）が六疊の寢室の蒲團の中に瓦斯管を引き込んでくわへ昏睡狀態におち入つて居るのを發見直に最寄醫師に依り手當を加へた結果生命を取止めた原因は淸子は目下妊娠[illegible]

南の風曇り處に依り驟雨模樣あり
滿潮（午前八時十五分・午後八時十五分）
干潮（午前二時三十分・午後二時三十分）
けふの小洋相場（正午）

吉永の生ビール

市內濱速町三丁目吉永酒場では今回デンマルク、カールスベツグ會から優良生ビールを直輸入し二三日前から賣出しビール黨に歡迎されてゐる

小崗子蠅取デー

小崗子署衞生係では來る四日より七日間傳染病流行期に入つたので小崗子署管內一齊に蠅取りデーを實施するが期間中は小崗子署では署員總出で監督に當り各家庭では蠅發生箇所には殺蟲劑を撒布せしむるやう居住民と一致して徹底的に蠅取りデーを行ふと

傷害の告訴

市內西公園町六五番地尾本正信は去る九日午後五時半ごろ自轉車置場のことから隣家の豬谷英一の妻と口論中豬谷方から二名の男が飛び出し尾本を屋內に引ずり込んで毆打し全治十五日間の打撲傷を負はせたといふので豬谷妻外二名を相手取り二十九日大連署へ傷害の告訴を提出した

素人下宿取締

小崗子署管內では最近素人下宿が多くなりその內の殆どは純然たる素人下宿でなく本物の下宿業に近いものであるため同署では保安衞生の見地から嚴重なる取締を行ふと共にこれ等下宿業に近いものに對しては正式に許可主義を取ることになり廿九日より調査を開始した

家出一束

旅順青葉町六六番地樂器商高田透方店員河野英敏（三〇）は二十八日午後一時ごろ主人の金六十四圓を拐帶し行方不明となつた、警察で取調べた結果大連から朝鮮方面へ逃走したらしく搜査中
×　×
市內黃金町五三番地馬鳴香の弟嚴（二二）は數ケ月前から家出行方不明であるが徵兵適齡に達してゐるので兄から大連署へ搜査を願出た
×　×
遼陽居住高橋正義（二四）は四十三歲といふオールドミスと手に手を取つて家出し二十八日夜行で大連へ向つた形跡があるので遼陽署から大連署へ取押へを依賴して來た
×　×
市內但馬町十七番地吳服商鈴木彌三郎方店員古坂金藏（三四）は二十八日午後五時三十分ごろ集金百圓を拐帶逃走したので大連署へ搜査を願出た

警務局長會議

奉天警務署においては七月一日午前九時より遼陽及び滿鐵沿線十三線の警務局長を招集し高粱繁茂期における匪賊の跳梁及び傳染病豫防等に對する對策協議の會議を開く事となつた【奉天電話】

通化で鹽缺乏

爆擊後の通化は漸次人心安定しつゝあるも目下食鹽缺乏しあと一ケ月をさゝへるに過ぎざる模樣で憂慮されてゐる【奉天電話】

街頭は愉快なり

新居格

「街頭は愉快なり」といふのは、僕の友人のモットオだが、その友人は暇さへあれば歩き廻つてゐる散歩好きで、彼は「小僧が自轉車で走つて來たのが、ひつくり返つたり、自動車が風を切つて疾走したり、兎に角街頭には動きといふ點に何といへぬ、生きた流動性があつて、是を見ることは實に樂しい」といつてゐる、そして本を讀んだり文章を書いたりする以外は何時も外を歩き廻つてゐて如何な心配事があつても街頭へ出れば愉快になるといつてゐる。

彼は必ずしも友人が多い譯ではない、只街頭を此の上なく好いてゐるのだ。

僕は彼のその言葉を訊いて、誠にもつともだと思つた。

僕等は彼と同樣「街頭派」の一人である。

×

よく晴れ渡つた日など、新宿驛あたりのプラットホームに立つてみる。

僕はあれから南方遙かに、うす紫色に烟つた連山があつて、雪線をぎつて、はつきりと浮び出てゐると云ふ樣な事を想像する。

そして、其の山の麓には長閑な溫泉場があつて、靜かな日々が明けては暮れて行く。

——斯んな幻想は僕を非常に愉快にする、街の入口の驛のプラットホームであるのに何か、スキスあたりの山の中にある、小さな驛でゞもあるかの樣な氣になる。

×

僕は年寄りだが、春になると昔年だちの樣に元氣で「街のファウスト博士」氣取りでぶらぶらと歩き廻ることが多くなる、尤も僕は「ファスト博士」ほど學問は無いんだが。——

此の場合には、僕の所謂「街上の友」と云ふのに多く出會ふ。

「街上の友」と云ふのは——一體何處に住んでゐるのか、一體何をしてゐるのか、何と云ふ名前なのか、一切知らず、只此方では顏だけ知つてゐて、ぱつたり行き合ふと輕い挨拶をしたり、一緒になつてお茶を飲んだりする友人連中なのだが、斯うした友人が銀座にも新宿にも可成りに多い。

出會ふと「如何だい景氣は良いかね」などと云ふが、何をしてゐるのか知らない友人が多數にある。

——此の間も、高圓寺の驛から省線電車に乘らうとしてゐると、愛稱してハル公と云ふ以外は何も知らない「街上の友」の若い女性に出會つたが、ハル公は僕の乘らうとする電車から、降りて來て片足をまだ電車にかけ乍ら僕を引き戻して「此の電車は駄目よ、餘り綺麗じやないわ」等といふ「何してるの」と例の調子で訊ねて見ると「働いてるの」と答へる「何をして」「ハダカになるのよ」僕は驚いて「ハダカつて云ふと」と訊くと「モデルになつたの」と明るく笑ふ。

「惡戯をしやしないか畫家たちが」「そんな事すれば是よ〇〇」と、ハル公は兩手を拳にして、拳鬪の恰好をして明るく笑つた、朗かな若さを感じさせる女性だ。

高圓寺驛で降りたが、何處に居るか、何と云ふ本名か、一切知らない。

ハル公などは典型的な「街上の友」の一人である。

×

僕は「街上の友」の身元調べなど強てしない、名前も住所も職業も、知らぬなら知らぬ儘にして置く。

今日會つて別れゝば、今度はいつの日に會へるか判らない、總てが「偶然」によつて支配される、この場合の「偶然」は、甚だ愉快で、朗かなものだ。

その折々に出會つて話する興味で、何處々々で——と云ふ背景は偶然に委せてしまふ。

何時會ふか判らず、また何等の規律もなしに會へる、所謂この「街上の友」は、僕にとつては街頭を愉快ならしめる、確に一つの大きな要素である。

僕の數多い「街上の友」たちは僕の散歩を明るくする。

×

都會人は段々、人みしりをせぬ樣に馴らされて行くのではないかと思ふ、是も都會の持つ特徴の一つだ。

或日上野の驛の、プラットホームに立つてゐると「街上の友」の青年が一人やつて來た「もう歸りかね」と僕は例に依つて、何處に勤めてゐるのかも知らぬが、上野驛へ下車したし、時間は夕暮れ田端か其の邊から來たのかと思つて聲をかけた「景氣は如何かね」

——青年は「やあ」と云つて笑つて「時に一つ、イサドラダンカン流の踊りを見て吳れませんか」と云ふ「うん結構だね」と答へると青年は手にしてゐた黑いカバンから座席券を取り出したが、すぐ考へ直して、これより良い奴をお宅へお送りしませうと——そんな約束をした、僕はお茶が飲みたくなつたので「どうだね、どつか其の邊でお茶を」と驛の近所へ行かうとすると、青年は「じや、好い所へ行きませう」と案內するやうに先に立つた。

驛を出て、山下へ出て、更に廣小路へ近くなるので「君まだかね大分遠いのかね」と訊くと「いや其處です」と、入つた所が廣小路の風月堂だつた。

「一寸其の邊」と僕等が云ふと、上野の驛前邊だが、青年の言葉では廣小路の邊までが「一寸其の邊」に入つてしまふので、今の若い人たちの考へ方と、僕等のそれとの間に大きな違ひのあるのを知つて一寸驚いた。

其處で踊りの話を色々して別れたが、二三日すると約束通り其の青年から手紙が來た、中には招待券が入つてゐたが、此の手紙でその青年の名も初めて判つたが、住所を見ると赤坂一つ木なのだ。

僕はその前の日上野驛のプラットホームで「歸りかね」等と云つたが、手紙で見ると赤坂に住んでゐるので、實に歸りでもなんでもなかつたのだ。

「街上の友」との間では、ときどき斯んな風な愉快な間違ひを演じる。

僕は甚だ面白いことだと思つてゐる。

×

ロシヤの、カーメンスキーと云ふ作家の作品に「白夜」と云ふのがあるがそれに出て來る主人公の青年は仲々面白い。

何かの事で、彼は街を歩いてゐると、ふと辯護士の家の前を通りかゝる、見ず知らずの人なのだが、彼はその辯護士と何と云ふ事なく話がしたくなつて、家に入つて行くと、事務員が出て來て、辯護士は留守だが、もう歸つて來るからと云ふので待つてゐる、そのうち辯護士がやつて來る、辯護士は青年を見るなり「君の事件は——」と訊く「別に事件はないんだが、僕は此の家の前を通りかゝつて、ふつと君と話がしたくなつたので來たのだ」と彼が答へる、辯護士はそれを聞くと「じや用がない歸つてくれ」で、往來へ突き出される。

と、彼の前方から一人の老紳士がやつて來る「やあ、暫く」と彼は馴々しく近寄つて行く。

老紳士は大變けげんな顏をして「私は貴郎を知らないが、誰ですか」と云ふ、彼は「私だつて貴郎を知つては居ないが、是非若かりし時代の、あなたの青春の話でも聞かせて下さい」と云ふ「然し私はあなたとは一面識もないのだ」と老紳士の云ふのを「そんな事もない、トルストイを讀み、ドストウエフスキーを知り、ツルゲーフを愛し、そして私もあなたも同じロシア語を使つてゐるのに知らないと云ふのは可笑しい」彼は笑ふのだ。

「人間には障壁が多すぎる、親族だとか、同窓だとか、同僚だとか知り合つてゐるとか、ゐないとか、その他諸々のことで、人の間には種々の障壁があつて、人間同志自由に話合ふことが出來ない、これは甚だ不合理な話だ」

——と此の小說の、カーメンスキーの「白夜」の中の主人公は云ふのである。

×

僕は最近から斯う考へてゐる。

日本人は、ロシア人より、何處の國の人間より、甚だしく人みしりをする人種だと。

我々が犬を連れて散步をする時に、犬自身は、自分の知つてゐる犬に出會つた時には、和やかに挨拶をかはしてゐるらしいが、一旦知らぬ犬と出會ふと、お互に烈しい勢ひで吠え合ふ。

少年時代を僕は田舍で過ごしたが、小學校の頃の爭ひなど考へ起してみると、同じ學校の少年たちとは喧嘩をしないが、他校の少年と聞くと、妙な敵對感情が起きて來た樣だ、斯うした事は、甚だ犬の場合と似てゐるのだ、我々には未だ原始的な尾底骨が殘つてゐる。

僕の「街頭友」たちは、さうした事から考へて行つてみると、何か一つの意味を持つてゐはしないかとも考へてゐる。

國文教科書に現はれた現代文

西尾實

數年前までは、中等國文教科書には矢たらに現代の小說家、戲曲家、詩人、歌人、俳人の小說や、戲曲や、詩や、短歌、俳句又は論文、隨筆、紀行文が集められてゐたのである。教科書編纂者は他の本に出てゐないものを物色して斷片的に新進作家の文章まで採載した。正に濫觴時代であつたがその後文部省の檢定が八釜しくなつた爲めに、精選時代が到來して何でもかでも新らしい作品、文章といふ事でなく、相當讀本的に吟味されて來たのである。卽ちその作品、文章の國語的正確さやその作品、文章の內容的な方面が檢討され、ひと頃のやうに藝術品であればいい、文學作品であればいゝ目新らしいからいゝといふ傾向が清算したのである、しかし國文教科書中の現代文は現在に於ても多數であつて、多く明治以來現在までの文學者のものである。

明治時代教科書はどうであつたかといふと、現代文の文章は多く學者思想家によるもので、その現代文そのものも極少量であつて大部分は明治以前の人々に書かれた文語體であつた。紅葉山人の硯友社時代、日露戰爭後の自然主義時代と小說は社會的にも有力なものとなつて來てゐたに拘らず、文學者の文章と教科書に採載する事はどの本よりも殆どなかつたもので明治四十一年までに出たものの中に、僅に藤村の詩が二篇、獨步の非凡なる凡人、二葉亭の大こゝろ、この三種あるのみである。明治四十一年十一月には坪內逍遙先生の編纂する中學新讀本が出たのであるが、その五冊からなるものゝ中にも、文學者の文章は一篇もなく先生自作の山彦海彦、戰爭の事を文語體で書いたものが三四篇、これ等が文藝的なものであるのみで他は多く古文であり、自然科學の話であつた。かういふ傾向はすべての明治時代の教科書に共通するものなのである。

かの言文一致の文體が、初めて教科書にとりいれられたのは落合先生の手によつたものでこれは明治三十六年刊行された。それも平の文章としての言文一致でなしに勝海舟の談話筆記として出た。しかしこれは言文一致の文章として立派なものであつた。で以上をせんじ詰ると、明治時代には、現代文の軌範をどの文體にすべきかに迷つたといふことが見られるのである。卽ち現代文を文語體にすべきか、或は言文一致の口語體にすべきか、迷つて終に落つく所を見ないで明治時代は終つた。其爲明治時代の教科書には古文、學者思想家自然科學者の言語體が多く、口語體の文章を持つ文學者のものは殆どとりいれる事が出來なかつた、それは又現代文の意義、つまり同時代の文章が果して教育上どれだけ價値をもつものであるかといふ點も深く吟味されて居なかつた事にも依るのである。これ等は實に今日から見れば甚だ意外に感じられるのであるが、當時はさうであつたし、それが又明治時代の特色であつた。而して大正時代に這入ると、文語體と口語體の位置が轉倒し、且文藝物が激出して來て、ひと頃の樣な現代作家の小說中の一章、詩、紀行文等の濫採を見、更に最近に於てはそれ等が淘汰されて、精選時代に這入つたのである

キャンプの話

盛んなアメリカのキャンプ生活
集團と個人の利害

キャンプの話しをする前に他山の石としてアメリカがその國立公園にどんな施設をしてゐるか少しく述べたいと思ふ。アメリカの國立公園を訪問するものは昨年は二百三十五萬五千人であつたが今年は是非三百萬人にしやうと當局は意氣込んでゐるといふ。

國立公園の施設は三通りであつて、第一は避暑地のホテルである。滯在は一日十弗から十五弗まで、一流のホテルに劣らない上等のものである。しかしこのホテルの外觀は、山の中といふ環境に調和するやうに、外から觀ると、丸太小舍のやうであるが、それは鐵筋コンクリートを巧に丸太のやうに工夫したのであつて、内部の設備などは、電燈、水道その他一切、都會のホテルと同樣完備してゐるその大なるものになると、百くらゐの部屋のあるものがある。

第二にロッジ、システムである。これは中央に食堂や娯樂室があつて、その周圍にバンガロー風な小さな建物が並んでゐる。一種のキャンプであつて、この小さな建物の中で、一家族が一夏送るのである。自炊も出來れば又食堂のものを喰ふことも出來る。娯樂室はそれを取巻く數家族の社交場のやうな譯である。これは是非日本でもやつて見たいと思ふ。食堂の給仕は大學生や、女學生で夏休みを利用して働きに來た連中なので、朗かな學生氣分でサーヴィスするから、行く人達は皆滿足するのである。上高地あたりにこのロッジ、システムを實現したいものと思ふ。娯樂室では、音樂や、映畫や名士の講演があるので、附近のホテルの客までも、晩になるとやつて來て、最後にはダンスの會がある。至極快適な避暑法であると思ふ。

第三は自動車を利用したキャンプ、自動車に工夫をこらして寢室を造つたり、一切の荷物を自動車に積込み、公園に這入つてキャンプをやる。この人數は全入園者の七十五パーセントを示してゐるやうである。これには自分の車で行くものもあり、乘合自動車を利用して行くものもある。この人達のために公園の係りの人がいゝキャンプ、サイドをあらかじめ調査する。即ちキレイな飲料水、洗濯用などの雜水や、たき木の多い所、景色のよい所といつたキャンプにふさはしい場所を選定し、電燈や洗濯場や、たき木等の設備をして置く。及貸貸しするテントなども用意して置く。ヨセミテあたりではこの種のキャンプが一晩に二萬五千人位あるさうである。日本は未だ甚だ稚々たるもので、上高地と云つても年に三萬人位である。

これ等の施設費は、ホテル、ロッヂや、避暑客相手の氷菓子屋等の店に稅をかけたり、自動車の入園料を一臺五弗までとつたりしてこれにあてるのであるが、年にそれが七八十萬圓に上るので、大體收支償ふさうである。このやうにアメリカのキャンプは大變景氣がいい。

日本のキャンプは登山からはじまつた。明治時代は山小舍と云ふものは殆どなかつたから、皆山に這入ればキャンプをしたし、又近年山小舍は相當發達したが、採光通風がよくなかつたり、蚤など居たりして、山小舍に寢るよりテントに寢た方が氣持がよく、又費用も安上りである。しかし登山家のキャンプや、軍隊のキャンプなどより、ずつとボーイス、カウトの集團的なキャンプが、キャンプの發達を一般的に刺戟したやうである。ボーイス、カウトのキャンプはアメリカのそれのやうな享樂的なものでなく、人間修養の爲にやるものである。五百人千人位のテント村を造り、その小さな社會で、集團生活の常識行爲を體驗的に修得するのである。又これと同樣の趣意の下に、先年水戸近くで、青年訓練の青年團が三萬人近く集つてキャンプ村を造つた事もある。單獨の五六人位のキャンプも亦よいものである。山頂の靜かな所で焚火しながら過ごす夜の味は又とないものである。それは嚴な自然を前にして、自己の心を澄ます所のもので、實地その味を知つてゐるものでないと解らないものだ。

扨　集團的のキャンプがいゝか、小人數の方がいゝか、といふと、私は最初は大勢でやり次に單獨で行ふと云ふ風にしたいと思ふ。或る所で私は見たのであるが、地面の上に新聞紙と油紙一枚だけ敷いて寢て居たり、他人のハンゴーを失敬したり、白樺の皮をはいであたりを醜くしたり、路に大便をしたり、實に不衞生不行跡極まるキャンパーもあつた。これではならぬ。最初は大勢のキャンプに這入り、よき指導者の下に知識を收得したり、大勢の中でしてはならぬ事と、しなければならぬ事を會得し、一通りキャンパーとしての訓練を卒業してから、小人數で出かけて行く。中學生徒が單獨で行くのは決してよくない。自由と放恣を穿き違へ、山の中で自墮落な生活をするのである。

支那の珍風景

西瓜攫ひの龍巻

浙江省の温泉は龍巻きが一ツの名物となつてゐる、毎年一、二回はキットこの龍巻きのために人死があるので怖ろしがられてゐるが二、三年前にも可なり猛烈なのがあつた。この時襲はれた村は丁度數ケ村の大小西瓜が殆どすッかり龍巻きに掠はれて、大分離れてゐる村里一面に幾千百という西瓜をまき降らしたことがある。これが爲め西瓜に襲はれた村の人間共は腦天をヤラレて死ぬ者や重傷を負ふ者數知れずと言つた嘘のやうな事實を殘した。

この怖ろしい龍巻が起る前には必ず海が騷がしく、東で怒鳴つた聲が西から聽こえたり、西で叫んだ聲が東に聞えると言はれてゐる。

虎が人妻を媒介

虎が人の恩義に感じて人妻を媒介したといふ話がある。

貴州省の普定縣に張雪といふヤクザ者がゐた獨り息子だといふので兩親が死んだ時分には一人前の惡黨になつてゐたので、土地の者は一人として相手にするものも無くなつて了つた。

親が殘した財産は餘すところなく叩き賣り、家も無ければ喰ふにも困る境涯となつた張雪は窃んでは喰ひ、人の軒下に夜露を凌いでゐたが、それすら村人の迫害に遭ふ始末なので、たうとうある山寺の椽の下に乞食のやうな生活をなすることになつた。

惡因惡果、張雪が唯一の棲家としてゐた、その山寺も間もなく火を失して燒けて了ひ、彼は燒殘りの木や板を圍つてやうやく小屋を造り憐れな生活をつづけてゐた。或日のこと突如として小屋の傍らに一匹の大虎が現れ張雪めがけて襲つてくるやうだつた。驚いた張公の奴一目散に逃げ出すと、虎も彼の後を追つてくる、しかし別に危害を加へやうとする樣子も無い。

そこでヨクヨク見ると、件の虎は身體中傷だらけだ。その呼吸使ひから見ると餘程の重傷らしく、張雪に向つて助けを求めるやうな目つきなんだ。張公の奴大いにこの虎さんに同情し、それから幾日か件の虎と同居して、喰ひものはやる傷の手當はしてやるので、ありつたけの親切をつくした效あつて、傷も癒り再び元氣を回復した。

この虎さんが張雪に厚く禮を述べて山中深く歸つてから四、五日のちのことだ。件の大虎は再び張公の小屋に現れたかと思ふと、絹を裂くやうな女の悲鳴が聽こえてきた、張公が出て見ると驚いた。

大虎の口には山麓の林といふ樵夫の娘がクワへられ、眞青な顏をして悲鳴をあげてゐる最中なんだ「オイ虎さん！その娘は以前からオレが惚れてゐた娘なんだ、助けてやつてくれ、頼む虎さん！」と怒鳴つたかどうか知らないが兎に角張の前にその娘をクワへてきて、口から放して了つた。

どうしたことだとその娘に聽くと、その日娘は父の林と一緒にいつもの通り山に入ると、突然、大虎が林を一撃の下に叩き殺し、怖いて逃げやうとする娘を口にくわへてここまで伴れられてきて了つた、といふわけだつた。

爾來道樂者の張雪はスッカリ性根を入れかへ、娘の父の樵夫となつて樂しく毎日を送り今でもそこに住まつてゐるといふ。勿論その娘が張の愛妻となつたことはいふまでもない。

なんせんするーむ

▲極致的謹嚴家

彼は何處へ出ても最も愼み深い紳士であつた、されば某上流家庭のお茶に招待された時の態度こそは、およそ謹嚴にして高雅、我々の思ひ及ばざるところであつた。

マダムが愛想よく勸める。

「お菓子をお一ついかゞでございます？」

「は、有難うございます、もう頂きました」

顏筋一つ動かさず、いとも鄭重に彼は答へた。

しばらくして、またマダムが

「お茶はいかゞでございます？」

「はア有難うございます、もう頂きました」

來會者の總ては陽氣にはしやいでゐるのに、彼一人はちつとも面白さうな顏をしない、マダム心配になつて、

「どうも御機嫌がおよろしくないやうですが、どうかなさいましたか？」

彼氏憮然として、「はア有難うございました、もう先程笑ひました」

▲片足だけを失つた話

彼は片足こそ木製の義足であるけれど、何萬といふ親讓りの財産を持つた幸福者である、話は如何にして彼が片足義足とならねばならなかつたかといふ物語。

彼は青年時代水泳選手であつた、そして南洋見物に出かけた折、人のとめるのも聞かず南洋の海に飛びこんで泳ぎ廻つた、その揚句一名槍魚と呼ばれる嘴の尖つた魚に股を突かれた、それは、非常な猛毒を持つた魚なので、それに突かれた者は如何なる名醫の手を煩はしても死ぬよりほかはない事に決められてゐた、然るにあく迄幸運者の彼は槍魚に突かれて間もなく息も絶え絶えに陸地に泳ぎつかうとした時、突如どこからか現れた鰐鮫に毒の廻つた片足をがぶりとばかり喰ひちぎられた。

かくして全身に毒の廻るのを未然に防がれた彼は片足を失つたゞけで命拾ひをしたといふのである

ああ幸運なる彼よ。

▲女はおしやべり

——きん子夫人の話——

女が三人寄れば姦しいつて申しますが本統にさうですわ、先日も電車の中で三人連れの女の人の隣りに乘り合はせたんですが、さアその中の一人のしやべること喋ること、でも品川でその人は下車して行つたので、いゝ鹽梅にこれで靜かになるかと思つてゐると今度は後に殘つた二人の一人が喋り始めました、まア何てあの人つたらお喋りなんでせう、呆れちまふわ、—そんな發端からその人のお喋りは電車が大森へくる迄息をつく間もないくらゐでした、大森でその人が降りて行つた時、最後に殘つた一人が突然私の方へ向いて隨分お喋りがしかつたでせう、本統にあの人達ときたら……といつた調子で今度はその人が私を捉まへて果しもないお喋りを始めたではありませんか……

オリムピック寫眞

【ロスアンゼルス發】（上）城戸少佐と共に鳥羽丸にて先發した我がオリムピック馬術選手の愛馬は五月十一日ロスアンゼルス港に入港と同時に上陸（下）オリムピック大會日本代表委員金澤氏（右）は鳥羽丸にて先發の城戸少佐をロスアンゼルス港に出迎へた

東洋第一
花王石鹸
カオーセツケン
品質本位
お中元の特別奉仕
美しい文匣式花王石鹸容器一個つき
他に類のない雛段式一打函
體裁のよいハンカチーフ一枚つき
花王獨特の美しい半打函
この外にお手頃の三個函も取揃へてあります
いづれも美麗なのし紙をお添へ致します
一打函につく花王石鹸容器
雛段式の美麗な一打函
戴いたからとて無駄に使ふことの出來ないのは石鹸です
石鹸ならむだべりのしない品質本位の花王石鹸に限ります
半打函につくハンカチーフ
純粋度九九・四%
東京・花王石鹸本舗長瀬商會・大阪
9367

國難日本刀（17）

高桑義生作　京極佳夕畫

右と左（五）

「おぢいちやん、大變て――どんな事になるんだい？」

無邪氣な聲である。

「はゝゝゝ……おぢいちやんにもわからないのさ」

「戰があるんだつて……」

「さうだ。あるかも知れない。それも大變だ」

「地震は？おぢいちやん」

「地震か、あるかも知れない」

「みんなはうき星のせいなのかい？」

「をかしいなあ。星にしつぽがあるんだもの」

「みんなしつぽが生えたら綺麗だなあ」

「はゝゝゝ……お前たちは氣樂でいゝよ」

「ばかな事をいふんぢやないよ、この子は」

母親らしいのがたしなめた。

「おらあもさう思ふさ、この頃はなにも手につかないや」

と若い男がいふ。

「汗水たらして、まつ黒になつて働いて、明日にもどうなるのかわからねえのぢや、まじめに稼ぐものはねえなあ、爺さん」

老人はこたへない。

「もう稼ぐのはやめにして、明日から酒でもくらつて遊ぶべいか」

「さうするだ。思ひ返しちやあ見るけれど、考へるとこけッたらしくて……」

「面白をかしく暮さにやあ損だ」

「生きてる内が花ぢやものなあ」

若い、健康さうな女が、しみじみと和した。

かれらはさうして、目に見えない世の中の變轉を呪つた、彗星といふ異常な出現に恐怖した。それは、何處にも聞かれる呟きである投げるやうなあきらめと、今日は今日といふ享樂を思ふ、世紀末的なさけびである。

この時、かれらにまじつてゐた若い武士は、老人にむかつて、おだやかに呼びかけた。

「もしもし、お話のなかだが……」

たれもいつしよにはうき星を見てゐる武士を氣にもとめなかつた

「はい、はい、何でございます」

老人も丁寧にこたへた。

「よけいなおせつかいのやうです

が、あのはうき星について、少しお話しをしたいと思ふのです」

はつきりと澄んだ、ひゞきのある聲だつた。

みんな話しをやめて、この武士を見た。月の光のせゐでもあらうや、蒼白い、くつきりとたかい鼻、おだやかな口元、切長な眼は智的なひらめきに澄んで「りりしい」といふ美貌である。すらりとした背恰好は、五尺五六寸もあらう、あまりに粗野な服裝だが、當世風にさせたならば、だれの目をもひく美丈夫である。

「はい」

老人も相手の態度にふさはしくいんぎんに目禮した。

「たゞ今、あなた方のお話を承はると、なにか大變な不幸が來るやうにいはれるが――あのはうき星がその前兆であるやうに仰有るがそれはこの頃世間一般にいはれる事です。いや、御老人のいふ通り、昔から凶兆といつて、天變地異、あるひは戰、病氣、飢饉などの前兆といはれて居る。これは日本ばかりではなくて、人智のすゝんでゐる西洋諸國でも、はうき星は、われわれの住んでゐる地球と衝突して、われわれの世界を破壞するものだといはれて居る。が、それもこれも、まつたくいはれのない迷信で、けつして左樣な事があるべきものではないのです」

諄々として說くかれには、如何なる事にも悠然たる人の好さと、また、たれをも傾聽させずにはおかない眞面目さがあつた。

「はうき星、つまり彗星といふものですが、あれは月や、あの無數の星や、また太陽や――われわれの住んでゐるこの地球もさうですが――廣大な宇宙にあるところの天體といふものでして……」

路傍の武士は、無智無學なかれらにむかつて、かんたんな天文學を說くのである。さうしてはうき星がなんら恐るべきものでないことを力說したのである。

子供が、かれの帶刀の鐺をひつぱつた。

綾助仙廣來連　歡迎淨瑠璃會

大阪女義界の竹本綾助と豐澤仙廣が突然來連したので大連素義會有志の發起で今二十九日午後七時から淡月樓上廣間で歡迎淨瑠璃會を催すが番組左の如し

一沼津里の段、玉糸、糸旭勝、一手習小屋の段、湖之助、糸旭勝、一、三勝半七酒屋の段、竹本綾助、糸豐澤仙廣

上海特急　ディトリッヒ主演　常盤座上演

この一篇も亦、スタンバークとディトリッヒのコムビになる作品として「間諜X廿七」に次いで評判された映畫であり、そしてまたこの一篇にかけられた唯一の非難はストオリイにあつた、卽ち北平から上海に行く急行列車の中でこの作品に盛られたやうな事件が起るといふことにあるらしいが、これは内地批評家の認識不足で映畫の中のサムが賭をするやうに何事が起るか知れたものでない、たゞ北平から上海へ直行する特急があるのは原作者の手落ちである、内地でされた批評は全く當を得たものでない、そんな潜入觀念は一切捨て見るべき作品である、寧ろスタンバークが米國でよくこゝまで支那事情を知つてこの一篇を製作したと推賞すべきであらう

例へば支那兵の持つ銃にしろよく氣がついてゐるし、驛の感じなどもよく出てゐて、支那の扱ひ方は日本の映畫監督にくらべてダンチである、たゞ土匪が列車を襲撃する場面が物足らないが、これは臺本を見ると日本で相當カットされたやうである

そしてこの作品が上海事件にも影響されて内地では素晴らしく當つたといはれてゐるが、この一篇は批評家の誤つた非難を蹴飛ばしファンの興味をそゝり立てるのに充分なスタンバークとディトリッヒの作品である【寫眞はディトリッヒとブルック】

噂話

何事も尖端を行かなくては承知が出來なくなつた常盤座▲今度は京都スタヂオ街から美少女五名を集めてマネキン・サービス・ガール團をつくり▲目下京都でマネキン・サービスの教育中で近く常盤座にお目見得することになつた▲ゆふべ常盤座で「インスピレーション」を試寫中に途中からやつて來た小泉のタケチヤンが▲突然「兄さん、この寫眞は歐洲吉田だなア車がどれもアメリカ物でない」との觀見振り、滿在觀覽は爭へぬものと一同感心する